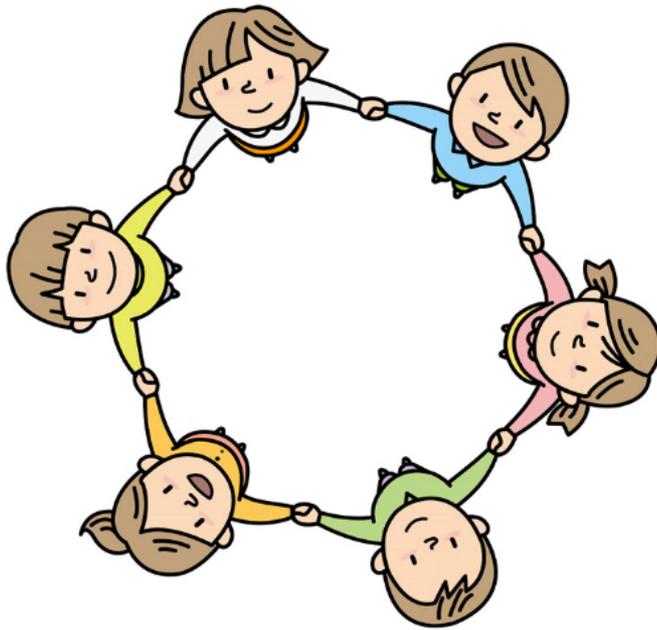


みんなで広げよう読書の輪と和・子どもの笑顔

小 山 市
子ども読書活動推進計画
(第四期)



令和3年3月
小山市・小山市教育委員会

あいさつ

本を読むことにより、子どもは、いろいろな世界を旅することができます。昨今のコロナ禍という活動が制限される状況にあっても、ひとたび本を開けば、日本や外国、見たことのない世界へ飛び立つことができます。そして、知らないことや知りたかったことを見つけ、行ってみたい場所や行ったことのない場所に行き、時代や空間を越えたさまざまな体験が可能になります。

また、子どもたちは、想像の世界の中で、コミュニケーションの力、行動する力、自分と他者を思いやる力、同じであること、違いがあることを感じる力など、まさに「生きる力」が養われます。

近年のICTの発展やタブレット端末の普及により、インターネットやSNSから発信される情報からの学びも重要なものになりましたが、刹那的な情報の脆さや危うさを子ども達が見分ける力をつけるためにも、読書活動は有効と言えるのではないのでしょうか。

子どもの読書活動の重要性を踏まえ「子どもの読書活動の推進に関する法律」が平成13年12月に公布・施行され、同法によって、国と地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する計画を策定・公表することが定められました。国は同法に基づき、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定し、県においては平成16年2月に「栃木県子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

これを受け、本市におきましても、平成18年3月に「小山市子ども読書活動推進計画（第一期）」を策定し、以来、子どもたちが読書に楽しさや喜びを見つけられるよう、本と触れ合う機会を増やすための様々な取り組みを実施してきました。

この度、第四期（令和3年度～令和7年度）の計画を策定するにあたり、第三期計画を見直し、今後の本市における子どもの読書活動がより充実したものとなるよう、「中央図書館」の役割の重要性を改めて確認するとともに、「家庭」、「幼稚園・認定こども園・保育園（所）」、「学校等」、「地域（市民）」が協働し、子どもの成長に合わせた読書環境を作っていけるよう総合的な施策を検討しました。

子どもたちを取り巻く読書環境が「輪」となって広がり、そこに「和」が育まれ、笑顔が生まれる小山市を目指しましょう。

結びに本計画の策定にあたり、策定委員並びに関係者の皆様に貴重なご意見をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

令和3年3月

小山市長 浅野 正富

あいさつ

子どもを取り巻く環境は日々変化し続け、様々な教育的課題が顕在化しており、大人の子どもの守り、育てる力が常に試されています。

また、多様なメディアが日進月歩で発展し、子どもの興味や関心に強い影響を及ぼしている中で、それらといかに共存し、子どもたちの健やかな成長を促していくかが課題とも言えます。

平成29年学習指導要領の改訂では、「生きる力」の育成を目指すと共に、主体的・対話的な深い学び(アクティブラーニング)の実現に向けた授業改善の推進が求められています。

アクティブラーニングの視点に立った授業改善を進めるにあたっては、電子黒板やタブレット等のICTの積極的な活用が有効ですが、ICT化と同時に子どもの表情や息づかいを感じながら、人間性を尊重、育成する教育も大切にしていきたいと考えています。

この度、第四期計画を策定するにあたり、乳幼児の保護者及び市内の小・中・義務教育学校児童・生徒にアンケート調査を実施しました。

アンケートでは、本を好きな子どもの割合がどの年代でも7割以上を占めていることがわかりました。これは、読書への関心は年齢が高くなっても維持できている喜ばしい結果と言えるのではないのでしょうか。しかし、図書館で本を借りる割合は、決して高くないという結果も出ました。

本を好きな子どもたちが、図書館でより多くの本と出会い、豊かな心を養うためにも図書館の蔵書は、常に子どもたちのニーズに合わせた新陳代謝が必要です。さらに、主体的・対話的で深い学びの実現のためには、ICT化と並んで、図書館が利用しやすく充実していることが望まれ、そのためには、人的配置も重要であると考えられます。また、地域で、子どもの読書活動を推進するために活躍して下さる人材の育成とサポートも必要です。

人生100年時代を生きる子どもたちが、読書に親しむことから、感動や喜びを感じるとともに、知識や学びを得て、生涯学び続ける力を身に付け、夢と希望をもって生き方を選択できるよう、読書環境整備を充実させていきます。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、多大なご協力、ご指導を賜りました関係者の方々に心からお礼を申し上げます。また、本計画が有意義に活用されますよう、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

令和3年3月

小山市教育委員会 教育長 濱口 隆晴

目 次

第1章 第四期計画の概要	1
1 計画の趣旨	2
2 計画の期間	2
3 計画の対象	2
4 計画の位置づけ	3
第2章 小山市における子どもの読書活動の現状	4
1 小山市子ども読書活動推進に関するアンケート調査について	5
(1) 小山市内の小学校2年生及び5年生調査と中学校2年生及び義務教育学校 8年生アンケート調査結果	6
(2) 小山市内に乳幼児を持つ保護者アンケート調査結果	10
(3) アンケート結果のまとめについて	13
第3章 小山市子ども読書活動推進計画(第四期)の目指す方向	14
1 基本理念	15
2 基本方針	16
3 活動指標	17
4 これまでの活動実績と第四期計画の取り組み	19
第4章 小山市における子どもの読書活動推進のための施策	21
基本方針1 子どもたちと本との出会いの場の設定	24
(1) 家庭における子どもの読書活動の推進	24
(2) 地域における子どもの読書活動の推進	25
(3) 幼稚園や認定こども園・保育園(所)等における子どもの読書活動の推進	26
(4) 学校等における子どもの読書活動の推進	28
(5) 市立図書館を中心とした子どもの読書活動の推進	31
基本方針2 家庭・学校等・地域における読書環境の整備	36
基本方針3 読書活動推進体制の充実	39
基本方針4 読書活動を推進する人材の育成と活用	40
第5章 啓発・広報活動の推進	41
資料編	43

第1章

第四期計画の概要

- 1 計画の趣旨
- 2 計画の期間
- 3 計画の対象
- 4 計画の位置づけ



1 計画の趣旨

子ども達は、本との出会いから、自分の中の新しい扉が開かれ、自分では生きられない人生を生き、自分の中にある可能性に気付くことができます。また、本に親しむことで、子どもたちは多様な考え方や寛容な行動を学ぶことができます。

大人が作った社会の中で、子どもを取りまく環境は大きく変化し続け、子どもはインターネットやSNSなどのメディアからさまざまな情報を簡単に得ることができるようになり、子どもたちの読書離れが進んでいます。

小山市では、平成18年3月に「小山市子ども読書活動推進計画（第一期）」（平成18年度～平成22年度）を策定以来、第二期計画（平成23年度～平成27年度）、第三期計画（平成28年度～令和2年度）を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

今回、第三期計画の成果と課題を検証し、さらなる充実を図るための取り組みを明らかにするため、「小山市子ども読書活動推進計画（第四期）」を策定しました。この第四期計画は、社会環境の変化や「子どもの読書活動の推進に関する法律」並びに国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」及び県の「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」等を踏まえると共に、「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念と関連づけ、施策の方向性や取り組みを示したものです。

この計画を推進するにあたり、家庭・学校等・地域・関係機関が相互に連携及び協働し、それぞれの取り組みを実施していくことを確認し、子ども達が心に笑顔を持ち続けられるよう読書の輪と和を広げていきたいと考えます。

2 計画の期間

本計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

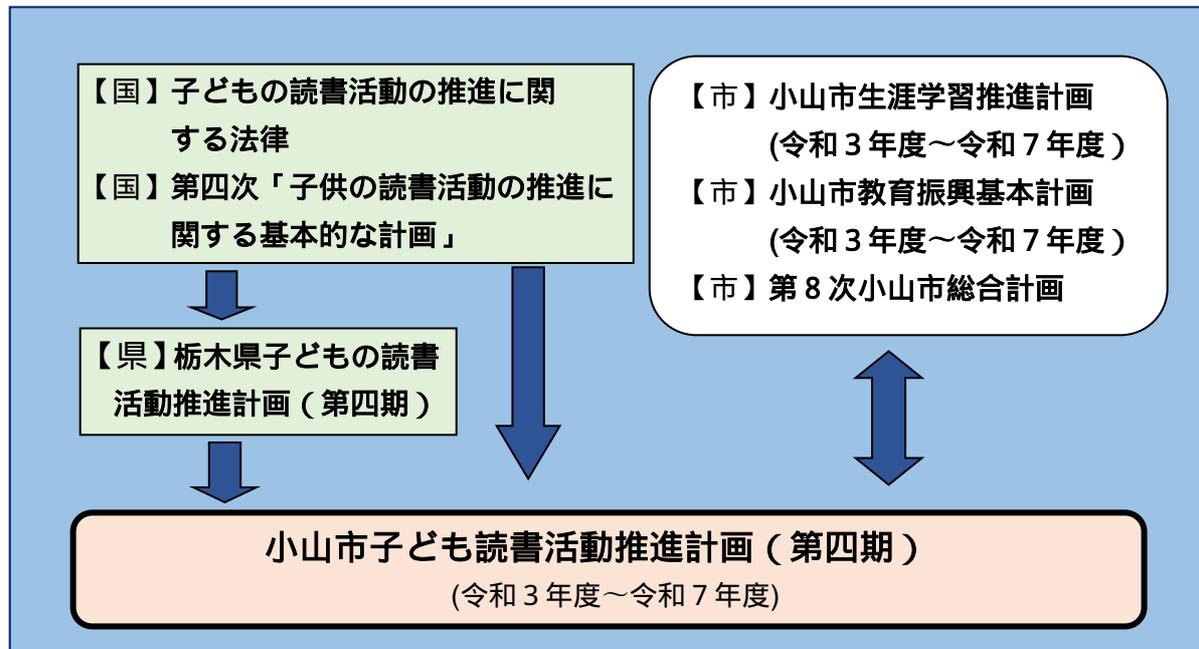
年度 計画名	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年 (2025)
【国】第四次「子供の読書の推進に関する基本的な計画」	→				
【県】栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）	→				
【市】小山市子ども読書活動推進計画（第四期）	→				

3 計画の対象

本計画では、おおむね18歳以下の子どもと子どもにかかわる家族、大人、また、計画に関わる教育・福祉関係者等、子どもの読書活動にかかわる関係団体等を対象とします。

4 計画の位置づけ

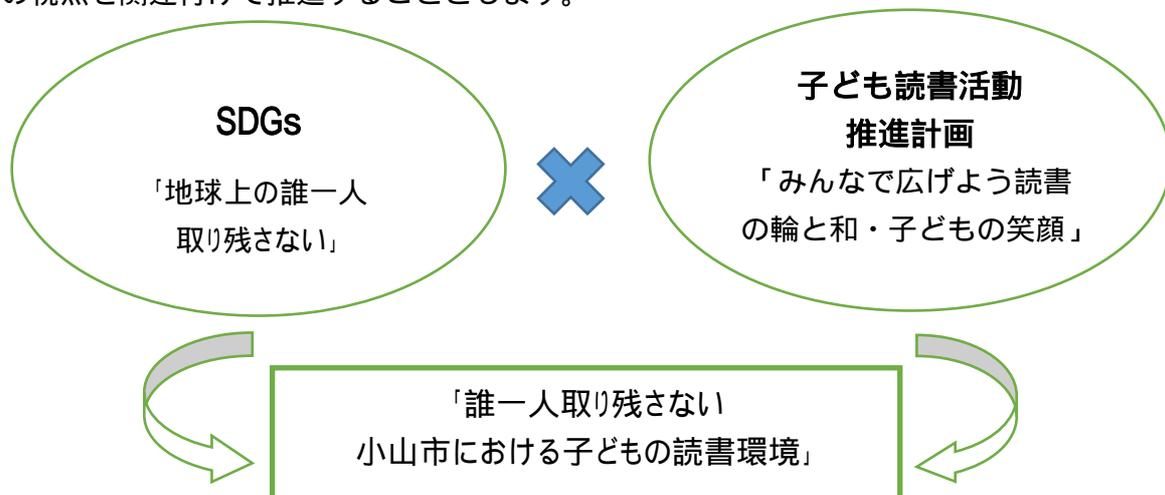
本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）第9条第2項に基づき、国が策定した、第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」、
「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」、小山市における子どもの読書の推進状況を踏まえ策定し、「小山市生涯学習推進計画」、「小山市教育振興基本計画」、「小山市総合計画」と連携、整合を図り、総合的な子どもの読書活動事業を推進するものです。



SDGs を踏まえた子ども読書活動推進計画の推進

平成27年（2015）9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」は社会・経済・環境面における2016年から2030年までの国際社会共通の目標です。国では各地方自治体に、各種計画等の策定にあたってはSDGsの要素を最大限反映することを推奨しています。

SDGsの視点は本市でも重要であるとしているため、本計画における取組においてもその視点を関連付けて推進することとします。



第2章

小山市における子どもの 読書活動の現状

1 小山市子ども読書活動推進に関する アンケート調査について



1 小山市子ども読書活動推進に関するアンケート調査について

○調査の目的

小山市における子どもの読書活動について実態を把握し、その重要性を見直すとともに、子どもたちが興味をもって積極的に読書を行える環境づくりを推進するための施策を検討し、「小山市子ども読書活動推進計画（第四期）」を策定するため。

○調査期間

令和2年9月14日（月）～9月30日（水）

○調査方法

小・中・義務教育学校・幼保施設を通して、配布及び回収

○調査対象

対象者	調査先
小学校2・5年生	小山一小、小山城北小、若木小、小山城東小、豊田南小、中小、羽川小、間々田小
中学校2年生・義務教育学校8年生	小山中、小山城南中、美田中、絹義務教育学校
認定こども園（保護者）	認定とまとこども園、認定間々田こども園、認定おおやこども園、認定こども園のぶしま幼稚園、認定こども園小山幼稚園、認定こども園みのり幼稚園、認定こども園静林幼稚園
保育園（所）（保護者）	やはた保育所

アンケートを実施した学校については、データを比較するため、第三期（平成27年度策定）の調査実施校と同様としました。幼稚園・認定こども園・保育園（所）については、幼稚園から認定こども園への移行を反映させるとともに、所在地、在園（所）人数等を踏まえ、一部変更と見直しをしました。

○回収状況

調査	回収数
小学校2年生向け調査	483人
小学校5年生向け調査	495人
中学校2年生・義務教育学校8年生向け調査	452人
認定こども園・保育園（所）保護者向け調査	796人

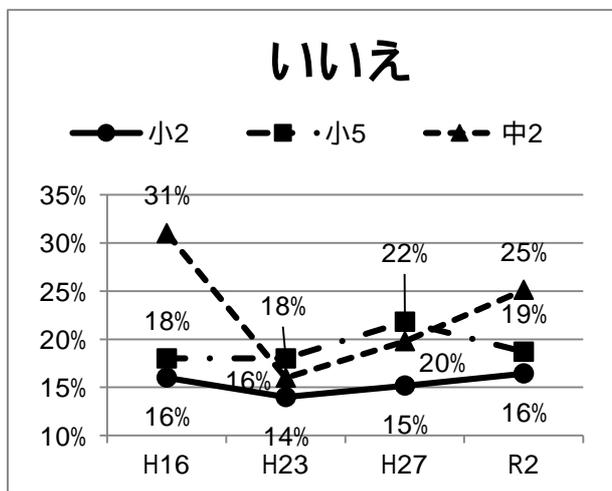
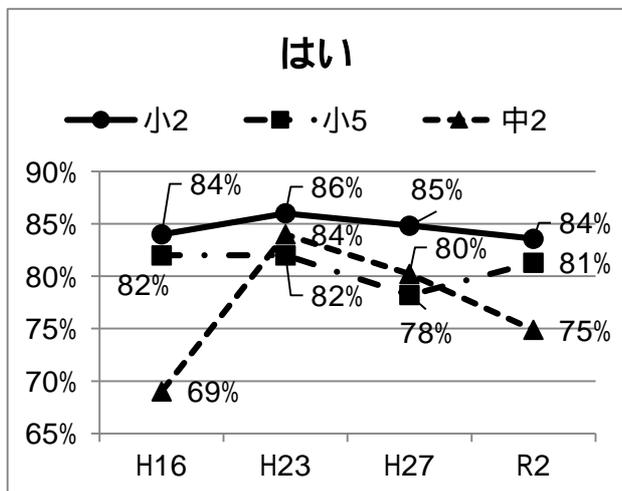
無回答は省略して集計したため、区分ごとの実数の合計が回収数と一致しないことがあります。また、集計はすべて百分率（％）とし、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。よって、合計が100％以上、以下となる場合があります。

アンケート結果は、抜粋して報告しています。全質問の集計結果は資料編 7 を参照ください。

中学校 2 年生及び義務教育学校 8 年生は「中 2」と表記しています。

(1) 小山市内の小学校 2 年生及び 5 年生調査と中学校 2 年生及び義務教育学校 8 年生アンケート調査結果

問 1 あなたは本が好きですか



中 2 については、「本が好き」と回答した子どもの割合が 75%と、平成 27 年度の 80%から、減少し、平成 23 年度に大幅に増加して以降、減少傾向になっています。小 2 ・小 5 は 80%台を継続して維持しています。

平成 23 年度以降は、「本が好き」の割合がどの学年でも 75%以上となっています。

問 2 本が好きな理由はなんですか(複数回答で聞いてみました)

本表に示す%は、各アンケート対象の回答者総数における各選択肢の回答比率を示したものです。

R 2 年度

選択肢	小 2 (483 人中)		小 5 (495 人中)		中 2 (452 人中)	
おもしろい	294 人	61%	320 人	65%	285 人	63%
感動する	78 人	16%	122 人	25%	112 人	25%
自分の知らないことがわかる	213 人	44%	218 人	44%	118 人	26%
小さい頃から読んでいる	119 人	25%	104 人	21%	48 人	11%
その他	34 人	7%	47 人	9%	20 人	4%

H27 年度

選択肢	小2 (423人中)		小5 (546人中)		中2 (472人中)	
おもしろい	298人	70%	261人	63%	347人	77%
感動する	65人	15%	83人	20%	139人	31%
自分の知らないことがわかる	210人	50%	158人	38%	137人	30%
小さい頃から読んでいる	115人	27%	81人	20%	46人	10%
その他	39人	9%	63人	15%	69人	15%

H23 年度

選択肢	小2 (499人中)		小5 (546人中)		中2 (472人中)	
おもしろい	359人	80%	346人	63%	384人	81%
感動する	67人	13%	80人	15%	127人	27%
自分の知らないことがわかる	240人	48%	213人	40%	128人	27%
小さい頃から読んでいる	154人	31%	95人	17%	46人	10%
その他	69人	14%	14人	3%	21人	4%

平成 23 年度以降の調査について、「本が好きな理由」については「おもしろい」と回答した子どもが、すべての学年で最も多く、次に「自分の知らないことがわかる」「感動する」との回答が多くなっています。読書から子どもたちの知的好奇心の高まりや、こころの成長が期待できることが伺えます。「小さい頃から読んでいる」と回答した子どもの割合は学年が上がるごとに減少しています。本が好きな理由を踏まえた働きかけにより、子どもたちはより読書に関心を持ち、より多くの本を手にするにつなげると考えられます。

問5 あなたは主にどんなきっかけで本を読みますか？（複数回答）

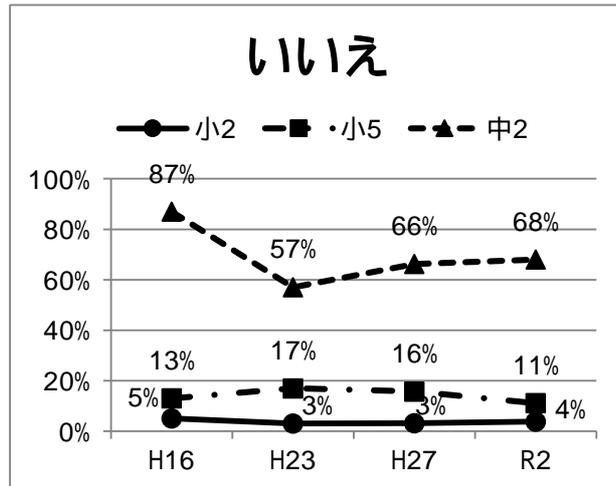
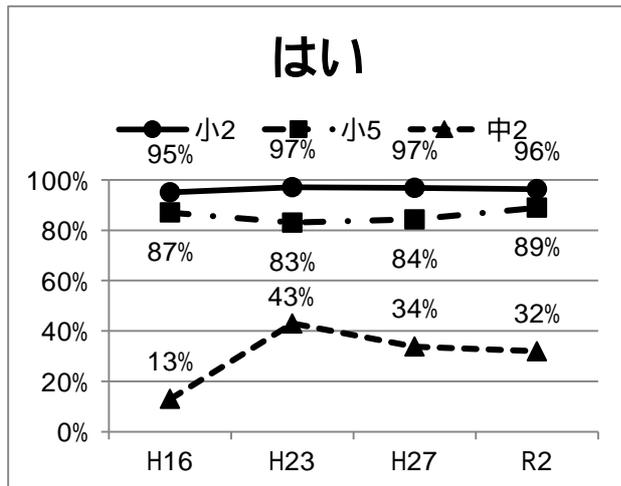
選択肢	小2 (483人中)		小5 (495人中)		中2 (452人中)	
友達にすすめられて	44人	9%	85人	17%	49人	11%
家にあったから	203人	42%	160人	32%	99人	22%
先生にすすめられて	22人	5%	8人	2%	8人	2%
本屋さんで見かけて	165人	34%	189人	38%	266人	59%
その他	102人	21%	104人	2%	60人	13%

国が平成 30 年 4 月に策定した「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」では、「子供の読書への関心を高める取組」の中で、子供の成長に伴い読書の関心度が低くなることへの対策として、子供同士で本を紹介し合う取り組みへの期待が述べられています。

小山市においては、「友達にすすめられて」と回答した割合は、小学生、中学生ともに県の現状値（平成 29 年）である小学生 7.6%及び中学生 7.0%を超える数値となりました。

どの学年においても、「家にあったから」「本屋さんで見かけて」の割合が高く、家庭の読書環境や読書への関心の大切さが伺えます。

問6 あなたは学校の図書館で本を借りますか

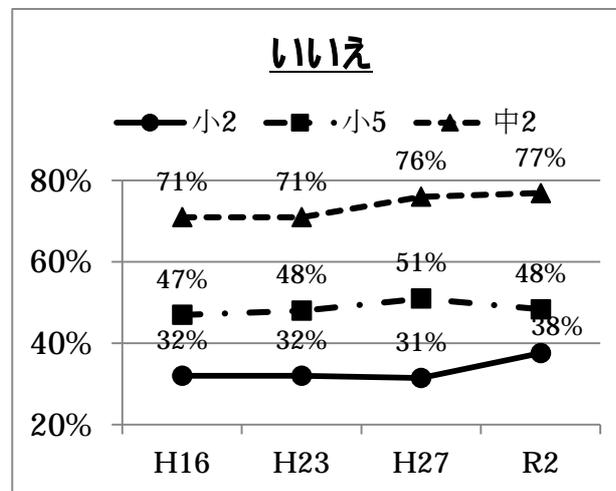
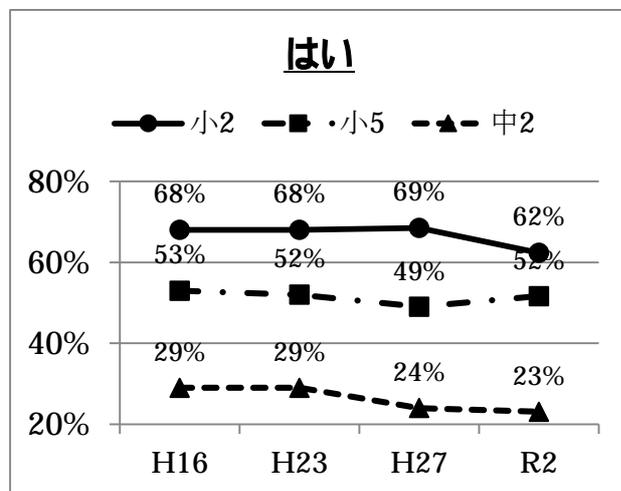


低学年の子どもほど、「学校の図書館で本を借りる」割合が高くなっています。

小2では90%以上、小5では80%以上の高い割合で学校の図書館を利用しており、小学校における図書館を活用した学習の取り組みの成果が現れていると考えられます。

中2の「学校の図書館で本を借りる」割合について、平成16年度は13%でしたが、平成23年度は43%に増加したものの、以降30%台となっています。

問8 あなたは市内の図書館で本を借りますか

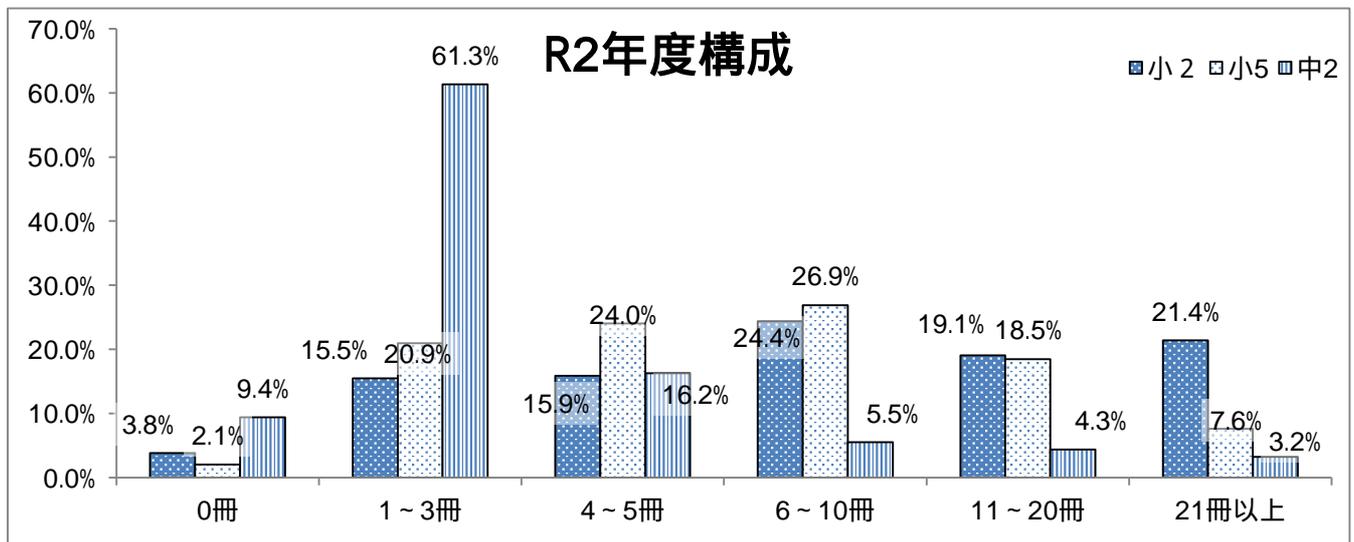
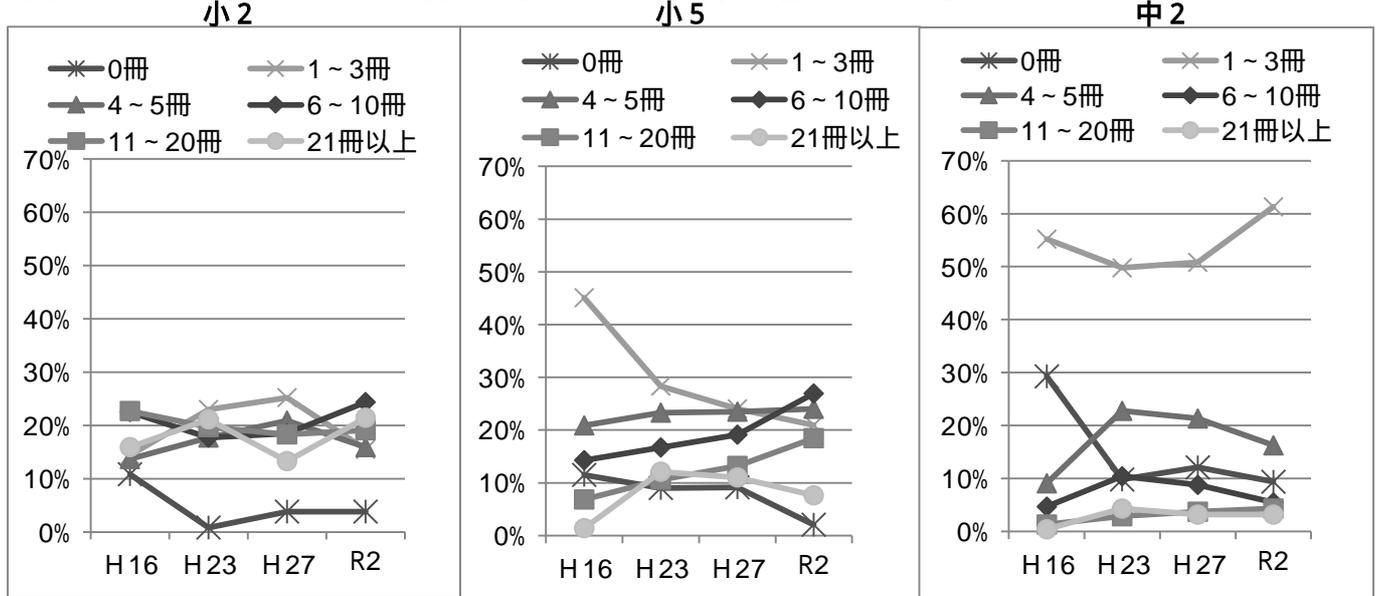


小2、小5は高い割合で、市内の図書館で本を借りている傾向にあります。

「市内の図書館で本を借りる」子どもの割合は、平成16年度から、小2で6割以上を維持し、小5では5割前後を維持し続けています。しかしながら、中2になると、2割台に減少します。

より多くの中学生が図書館の本に興味を持てるような取り組みが必要と思われます。

問 1 2 あなたは1ヶ月にどれくらいの本を読みますか



「1か月に1冊も本を読まない子どもの割合」(不読率)は、平成16年度から平成23年度において、小2では10.8%から0.8%、小5では11.5%から9.0%、中2では29.3%から9.8%に減少しました。全学年において、平成27年はやや増加となりましたが、令和2年度は、小2では3.8%と横這い、小5は2.1%、中2は9.4%と、減少しています。

小2では、「6冊~10冊」読む割合が24.4%と一番多く、「21冊以上」が21.4%と同程度の割合で続きます。小5では、「6冊~10冊」読む割合が26.9%と一番多く、「4冊~5冊」読む割合が24.0%、「1冊~3冊」読む割合が20.9%と同程度の割合で続いています。中2では、「1冊~3冊」読む割合が61.3%と一番多く、「4冊~5冊」読む割合が16.2%で続いています。

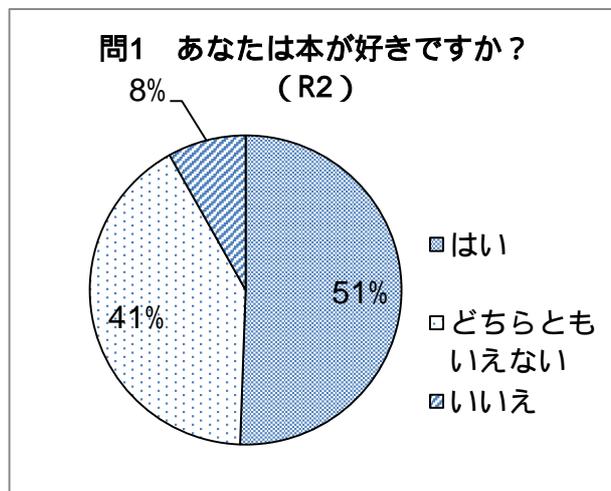
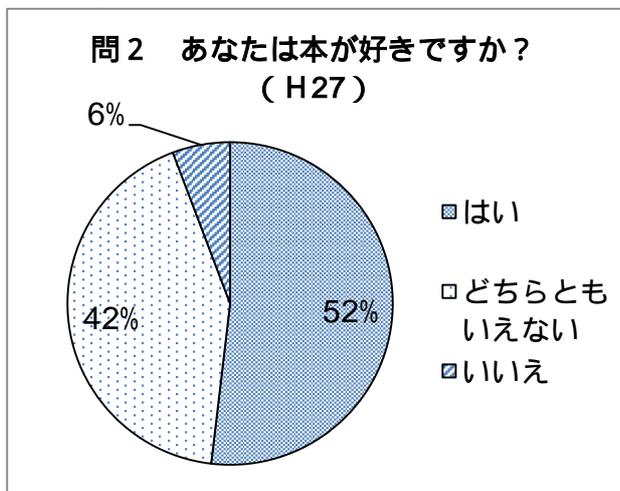
中2では70.7%が「0~3冊以下」の読書量となっています。一方、小2では80.8%が、小5では、77%が、「4冊以上」の本を読んでいる結果となりました。

不読率は全学年において令和2年度が一番低くなっており、良い傾向にあると考えられます。

(2) 小山市内に乳幼児を持つ保護者アンケート調査結果

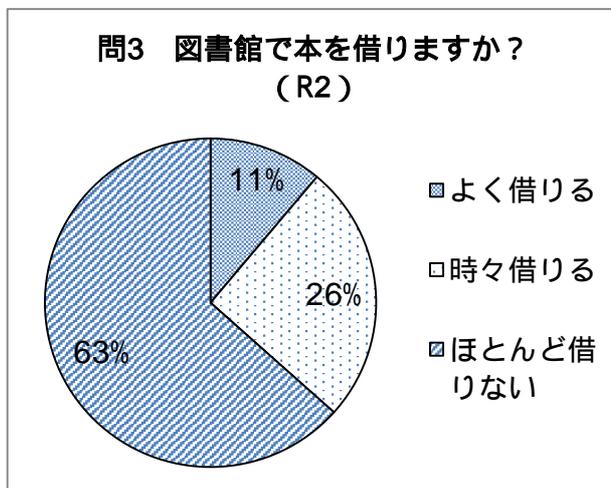
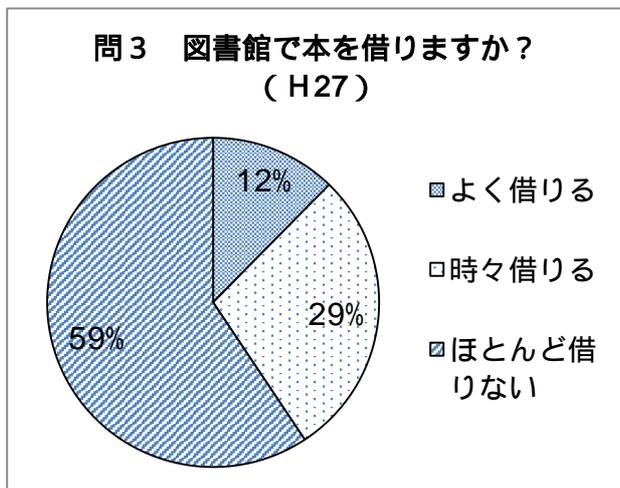
()内は平成 27 年度実施調査票の質問番号

問 1 (問 2) 保護者自身は本が好きか



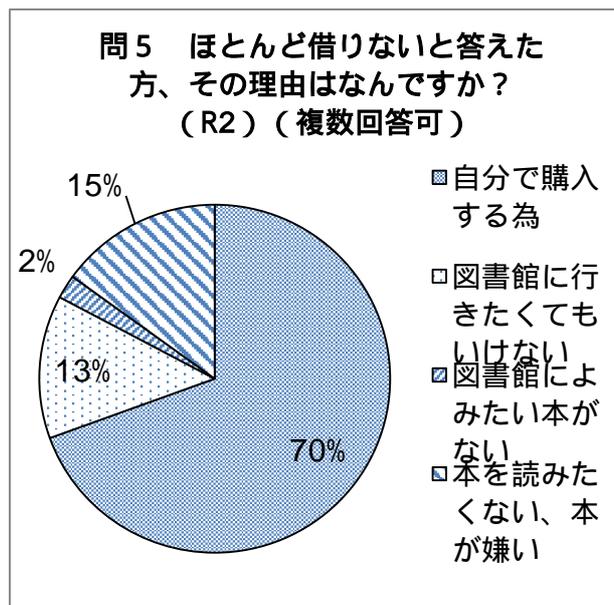
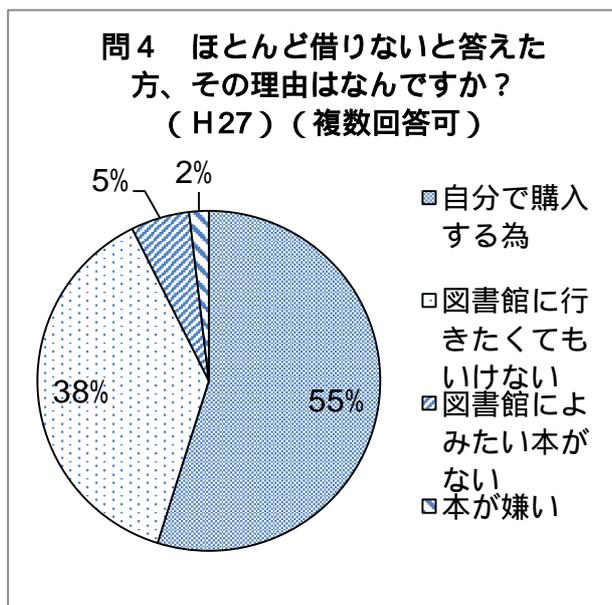
平成 27 年度は、「本が好きですか」という問いに「はい」52%、「どちらとも言えない」42%、令和 2 年度では「はい」51%、「どちらとも言えない」41%、はっきりと「本が好きではない」という保護者は 8%となっており、各年度共にほぼ同じ傾向が見られました。

問 3 図書館で本を借りるか



令和 2 年度においては、問 1 で「本が好き」と答えた保護者が 50%以上だったにも関わらず、「公立図書館で本を借りる」と答えた保護者は 37%で、「ほとんど借りない」と答えた保護者が 63%となっており、各年度共にほぼ同じ傾向が見られました。

問5（問4） 図書館で本を借りない理由

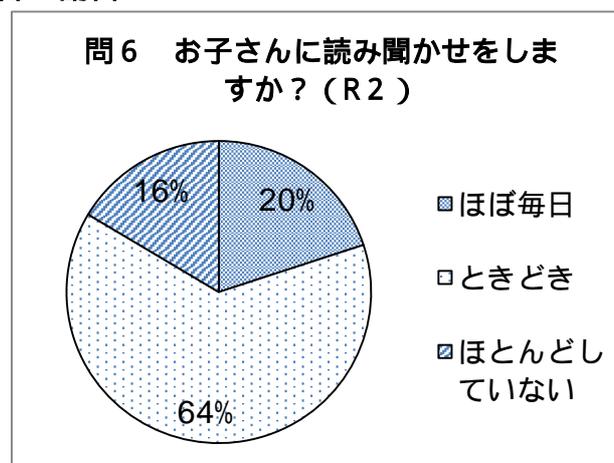
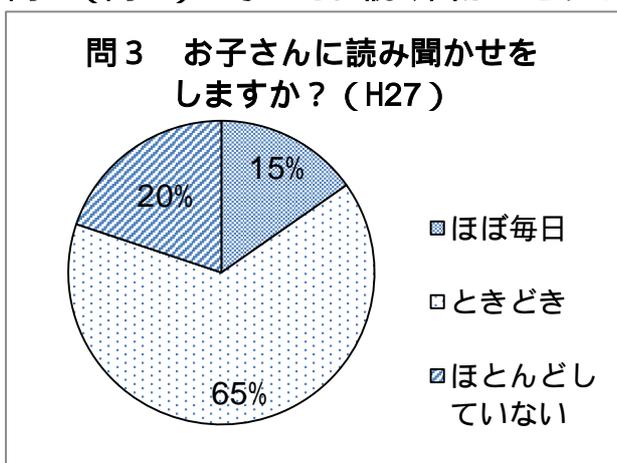


令和2年度においては「自分で本を購入するため公立図書館で本を借りない」という理由が70%を占めています。これはインターネット等の普及により、読みたい本が家に居ながら、いつでも検索・購入できるという生活環境の変化によるものだと考えられます。また、「図書館に行きたくてもいけない」が平成27年の38%から13%に減少したことは、コロナ禍での図書館利用による感染への不安が影響している可能性が考えられます。

家事や育児で生活スタイルが変わり、読書に割く時間が減ったことや、本を借りて子どもが汚したり壊してしまう事が怖いなどの理由があげられています。「図書館に行きたくても行けない」という方たちから本離れが進まないようにすることが課題のひとつといえます。

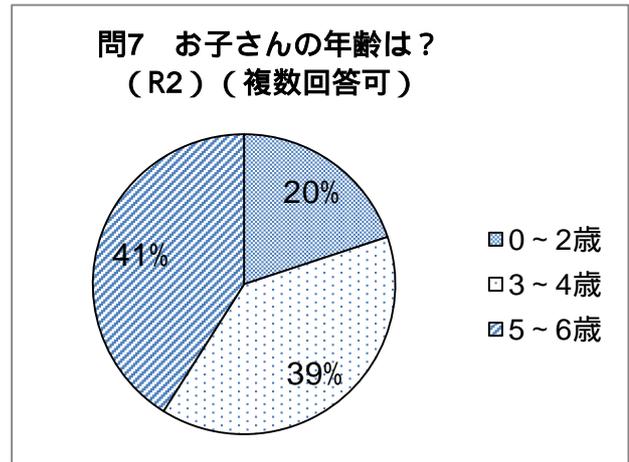
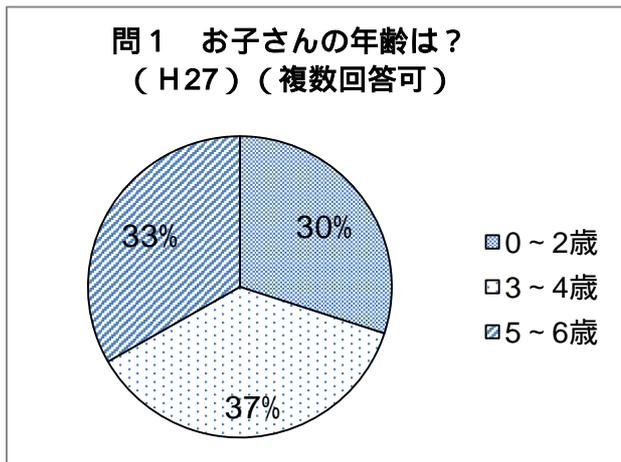
また、「本を読みたくない、本が嫌い」が2%から15%に増加しており、保護者に読書の楽しみを伝える機会の充実が望まれます。

問6（問3） 子どもに読み聞かせをする保護者の割合



令和2年度は、「ほぼ毎日」「ときどき」の割合の合計が、84%でした。子どもが家庭で本に親しむ時間の確保に努めている様子が伺えます。

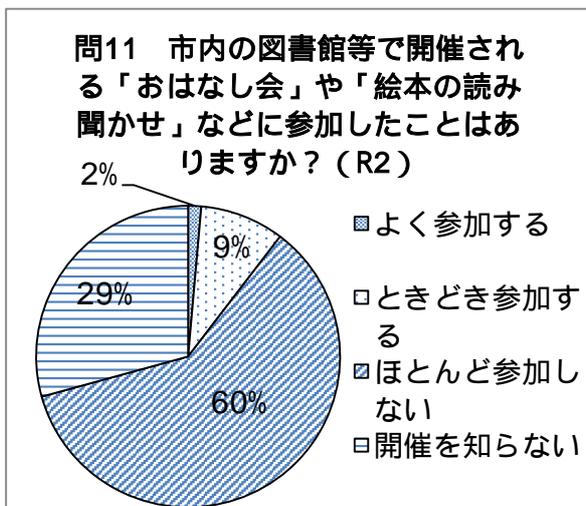
問7(問1) 子どもの年齢



0～2歳・・・129名
 3～4歳・・・158名
 5～6歳・・・143名 延べ 430名
 無回答1名

0～2歳・・・187名
 3～4歳・・・367名
 5～6歳・・・386名 延べ 940名
 無回答4名

問11 子どもの読書を推進する「おはなし会」や「絵本の読み聞かせ」に参加する保護者の数



「よく参加する」「ときどき参加する」と回答した保護者は11%で、周知・PRの工夫、開催方法・内容の見直しの検討が必要と思われます。しかし、今回はコロナ禍での調査であり、外出を控えている現状の表れでもあると考えられます。

(3) アンケート結果のまとめについて

対象	アンケート結果のまとめ
小学生 2年生 5年生	<p>「本が好きな割合」は84%で、第一期の調査以来8割程度を維持しています。学校の取り組みにより、「学校図書館で本を借りる割合」も高い結果となりました。学校図書館へ期待することは、「自分が読みたい本がある」「定期的に新しい本が入ってくる」が高い割合となっており、小2ではそれらに続いて、「いつ行っても開いている」「行きやすい場所である」ことも高い割合を示す結果となりました。</p> <p>本が好きではない理由として、「ゲームやテレビの方が面白い」が一番高い割合となっており、本を読む機会が少なくなっていることが考えられます。続いて多くなっている「どんな本を選べばいいかわからない」、「読むのが面倒・難しい」と感じている子どもたちへの働きかけの検討が必要です。</p> <p>「興味のある本」については、小2は「漫画」に続いて「絵本」、小5は「漫画」に続いて「物語・小説」が高い割合でした。</p>
中学生 2年生 8年生 (義務教育学校)	<p>○本が好きな割合は75%で第二期から僅かながら減少が続いています。</p> <p>○小学生に比べ、学校図書館の利用が少なく、68%の生徒が本を借りないと答えています。</p> <p>○本が好きな理由としては、「面白い」が77%と一番多く、「感動する」31%、「自分の知らないことがわかる」30%と同程度でした。</p> <p>○本を好きでない理由としては「ゲームやテレビの方が面白い」、「読むのが面倒・難しい」という回答が小学生と比べ多くなっています。</p> <p>○近年、SNSやインターネットが急速に普及し、手軽に楽しめるコンテンツが身近にあることで読書を面倒と感じ、本への苦手意識が生じていることが要因の一つと思われます。中学生が読書に求める、「面白い」、「感動する」、「自分の知らないことがわかる」をポイントに取り組みを検討していくことが必要と思われます。</p>
就学前の乳幼児を持つ保護者	<p>○本が好きと回答した保護者は、前回(三期)の調査とともに5割を超えていますが、図書館で本を借りる割合については、「ほとんど借りない」が6割を超えました。その理由は「自分で購入する」割合が前回の55%から70%に増加し、「本を読みたくない、本が嫌い」の割合が、前回(三期)の調査と比べ2%から15%に増加しました。</p> <p>○自由記載欄からは、時間の制約や居住地の関係で図書館へ気軽に行くことができない、子どもによる図書の汚損・破損を危惧して借りない、コロナ禍での図書館利用への不安などが伺える一方で、「オススメの本が知りたい」「読み聞かせの方法を知りたい」などの意見もありました。</p> <p>○本が好きな子どもは7割、「どちらともいえない」を含めると9割にのぼり、「ほぼ毎日」「ときどき」読み聞かせをしている保護者は8割を超えており、前回(三期)の調査より増加しました。</p>

第3章

小山市子ども読書活動推進計画

(第四期)の目指す方向

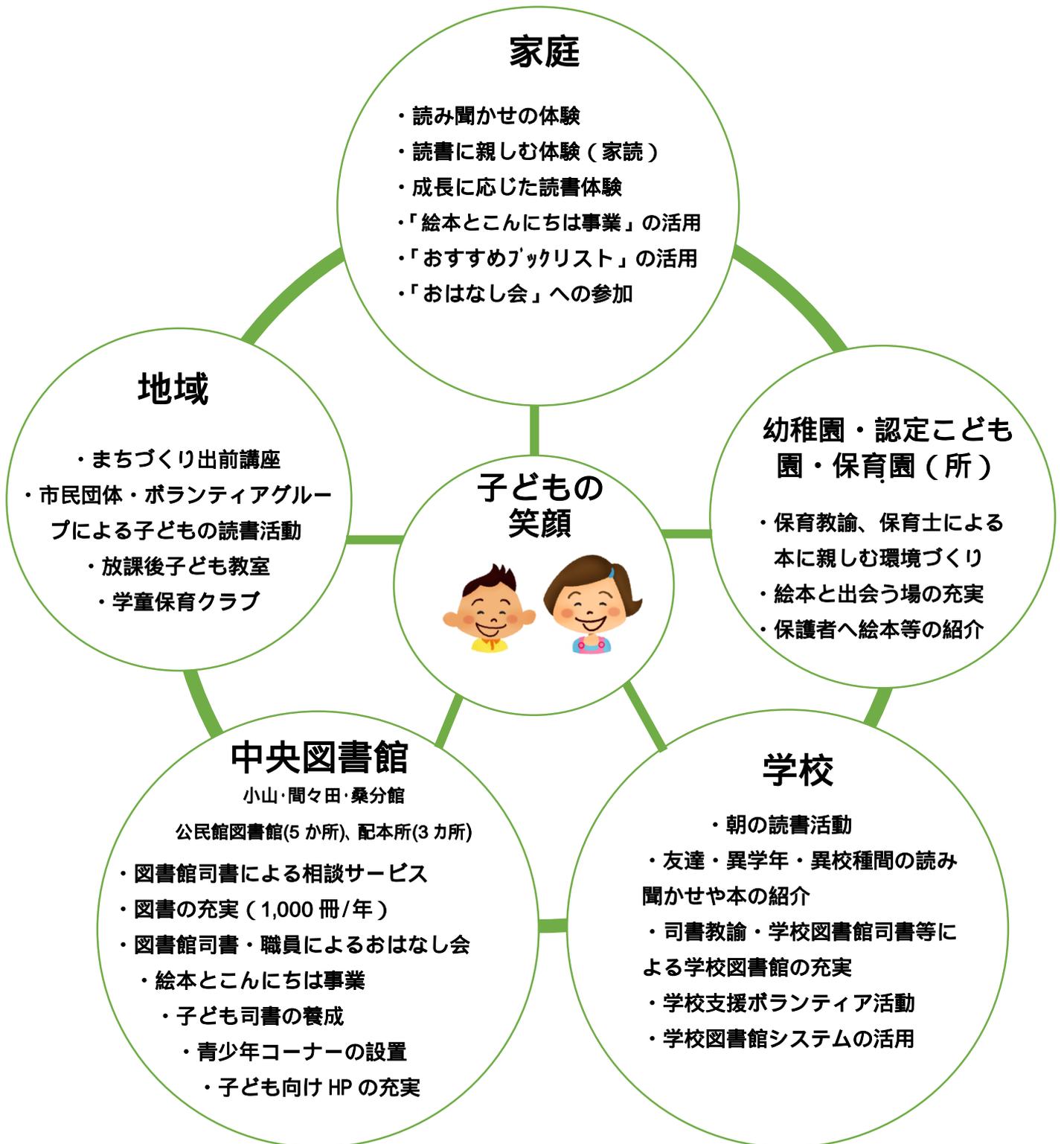
- 1 基本理念
- 2 基本方針
- 3 活動指標
- 4 これまでの活動実績と
第四期計画の取り組み



みんなで広げよう読書の輪と和・子どもの笑顔

「読書」が「子ども」を「笑顔」にすることを願い、子どもに関わる大人が協働して、いろいろな取り組みを考えていくことを基本理念とします。読書活動の広がりを輪(活動の広がり)と和(心の広がり)で表しています。

読書の輪と和 イメージ図



基本方針 1 子どもたちと本との出会いの場の設定

読書が子どもの生きる糧となるよう、「本との出会いの場」づくりを推進します。親子共に楽しめる本との出会いの場や、子どもたちの遊び、学び、体験につながる本との出会いの場づくりを通し、積極的に本とふれあうことで、子どもたちが自立して生きていく自信を読書活動から得られるよう取り組みを推進します。

基本方針 2 家庭・学校等・地域における読書環境整備

子どもたちが読書に親しむきっかけを見つけられるよう、家庭・学校等・地域それぞれが、環境整備に努めます。

基本方針 3 読書活動推進体制の充実

子どもたちの読書活動を支え、子どもたちの健全育成を推進していくために、関係機関や関係団体、子どもの読書活動に取り組む関係者が共に連携を深め、推進体制の整備を図ります。

基本方針 4 読書活動を推進する人材の育成と活用

家庭に寄り添い地域で子どもたちの読書活動を支えるため、ボランティアなど人材の育成を図り、自主的、創造的な活動ができるよう支援していきます。

3 活動指標

指標 1 1か月に1冊も本を読まない子どもの割合（不読率）

	平成16年度	平成23年度 実績	平成27年度 実績	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
小学校・義務教育 学校2年生	10.8%	0.8%	3.8%	3.8%	2%以下
小学校・義務教育 学校5年生	11.5%	9.0%	9.1%	2.1%	2%以下
中学校2年・義務 教育学校8年生	29.3%	9.8%	12.1%	9.4%	8%以下

目標数値（国）

	平成29年度 現状値	令和3年度 目標値
小学生	5.6%	2%以下
中学生	15%	8%以下

目標数値（県）

	平成29年度 現状値	令和5年度 目標値
小学生	4.2%	2%以下
中学生	11.9%	10%以下

出典：「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画 第四次」（国 H30 年 4 月策定）

出典：「栃木県子どもの読書活動推進計画 第四期」（県 H31 年 3 月策定）

指標 2 本を読むきっかけに「友達にすすめられて」と回答する割合

	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
小学校・義務教育学校2年生	9.1%	10%以上
小学校・義務教育学校5年生	17.1%	18%以上
中学校2年生・義務教育学校8年生	12.0%	13%以上

◆ 目標数値（県）

	平成29年度 現状値	令和5年度 目標値
小学生	7.6%	10%以上
中学生	7.0%	10%以上

出典：「栃木県子どもの読書活動推進計画 第四期」（県 H31 年 3 月策定）

指標3 市内の図書館（「せきれい」を含む）の利用率

	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
小学校・義務教育学校2年生	62%	70%以上
小学校・義務教育学校5年生	52%	60%以上
中学校2年生・ 義務教育学校8年生	23%	30%以上

指標4 子どもに読み聞かせをする保護者の割合

	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
保護者	83.2%	85%以上

指標5 子どもの読書活動を推進するイベントへの参加割合

	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
保護者	10.3%	15%以上

4 これまでの活動実績と第四期計画の取り組み

(1) 第三期計画での取り組み(新規・拡大事業)と実績

小山市子ども読書活動推進計画(第三期)で掲げた取り組み及び実績です。

第三期の取り組み	実績
○健康増進課で実施の9か月児健康相談受診者全員を対象に、平成28年度より中央図書館主体の「絵本とこんにちは(絵本とふれあうしあわせ)」事業の実施	○平成28年度より中央図書館と健康増進課の協働により「絵本とこんにちは」事業を実施し、小山市に住む9か月児(年間約1,300人)に、9か月児健康相談の際、図書館司書が選定した5冊の絵本のうちから1冊をプレゼントした。併せて、絵本の読み聞かせの実施、図書館で行っているおはなし会の案内など図書館サービスも紹介し、親子で絵本と触れ合うきっかけ作りに大いに役立った。 小山市書店組合からはこの事業のために、バックの寄贈があり、絵本プレゼントの際に好評を得ている。
○認定こども園による絵本読み聞かせの拡大	○年齢に合わせた読み聞かせを継続的に実施し、子どもたちが本に気軽に手を伸ばすことができるスペースを作り、安心して本に親しむことができた。 ○子どもたちは読み聞かせが大好きとなり、お便りなどを通じて、絵本の楽しさ、読み聞かせの大切さなどを保護者の方にも伝えることができた。
○中央図書館桑分館の開館	○平成28年度に桑分館が開館し、蔵書数12,706冊、貸出数30,303冊(令和2年4月1日現在)に増加するとともに、分館として位置付けられたことにより、サービスが拡大し、中央図書館や、他の分館との連携(図書等の配送のスピード化)が密になり、小山市の読書活動の充実が図れた。
○中央図書館のおはなし会の充実(乳幼児向けおはなし会や、桑分館でのおはなし会の実施)	○6団体のおはなしボランティアグループが中央図書館・各分館・城南配本所で定期的におはなし会を開催している。図書館では開催のPR等を行った。 ○中央図書館では、幼児や児童に本の楽しさを伝えるおはなし会が盛んで、職員やボランティアグループにより中央館・各分館合わせて毎月定期的に9回開催している。その他にも、多数のおはなし会が開催された。 平成28年度から中央図書館主催で乳幼児向けおはなし会「おはなしウエンディ0・1・2」を開催している。平成30年度からはボランティアグループの協力を得て、桑分館を会場にしたおはなし会を開催している。

(2) 第四期計画での取り組み(新規・拡大事業)

- 小山市おすすめブックリスト改訂版の活用
- 中央図書館大谷分館の開館
- 中央図書館において電子書籍導入の検討



(3) 中央図書館における取り組みと実績について

第一期計画(平成 18 年度～平成 22 年度)	
平成 19 年 4 月	中央図書館・小山分館の開館時刻を午前 9 時 30 分から 9 時へ変更
平成 20 年 7 月	絹・生井・寒川・中公民館図書室の電算処理(オンライン)を開始
平成 21 年 1 月	大谷公民館図書室を新設
4 月	間々田分館を開館
平成 22 年 10 月	穂積・豊田・桑公民館配本所の電算処理(オンライン)を開始
第二期計画(平成 23 年度～平成 27 年度)	
平成 23 年 5 月	中央図書館の土・日・祝日の開館時間延長(午後 7 時まで)を開始
平成 25 年 4 月	小山城南市民交流センター配本所を開所
10 月	移動図書館車「せきれい」を更新
平成 27 年 4 月	小山市公衆無線 LAN のアクセスポイントを設置
第三期計画(平成 28 年度～令和 2 年度)	
平成 28 年 4 月	桑分館開館 「絵本とこんにちは」事業(絵本とふれあうしあわせ事業)を開始
11 月	IC 図書館システム導入
平成 30 年 4 月	小山市の「関東どまんなかサミット会議」加盟により、加盟する市町との公共施設の相互利用を開始
令和元年 9 月	マイナンバーカードによる貸出サービス開始

(4) 小山市子ども読書活動推進に関するアンケート結果における課題

○市内の子どもの読書活動の状況は、今回の調査結果によると、1 か月に 1 冊も本を読まない子どもの数の割合(不読率)が、小学 2 年生 3.8%、小学 5 年生 2.1%、中学 2 年生 9.4%と、県の現状値(平成 29 年度が実施)より低くなっており小山市における読書活動の成果が表れていると考えられます。しかしながら、学年が上がるにつれ読書離れが進む傾向にあることから、小学校教育から中学生までの継続的な読書活動の充実を図り、その先につなげる取り組みをする必要があります。

○本が嫌いな理由に、「読むのが面倒・難しい」、「ゲームやテレビの方が面白い」と答えた子どもが多いことから、市の図書館、学校図書館において「本を読みたくなる・借りたくなる機会を増やしていく取り組み」が重要となります。そのため、魅力のある図書を継続して更新し、おすすめブックリスト等により本との出会いの充実を図り、学校の授業等で図書館を利用する機会を十分得られるような取り組みが考えられますが、特に中学生が図書館を利用する機会を増やし、読書に楽しさを感じられるような働きかけが期待されます。

○保護者へのアンケート調査によると、保護者の約 9 割が「読み聞かせは大切」だと感じており、「本が好きな子ども」は 7 割でした。家庭や幼稚園・認定こども園・保育園(所)での取り組みの成果と考えられます。家庭での読書活動の充実につながるよう、市内で行われている読み聞かせなどの読書活動の周知や子育て世代や子供たちに利用しやすい市立図書館の在り方の検討が必要です。

第4章

小山市における子どもの 読書活動推進のための施策

- 基本方針1 子どもたちと本との出会いの場の設定
- 基本方針2 家庭・学校等・地域における読書環境の整備
- 基本方針3 読書活動推進体制の充実
- 基本方針4 読書活動を推進する人材の育成と活用



基本方針 1 . 子どもたちと本との出会いの場の設定

- (1) 家庭における子どもの読書活動の推進
乳幼児期の子どもと保護者が絵本と出会う場の設定
おすすめの本との出会いの設定
保護者が本と出会う機会の提供
- (2) 地域における子どもの読書活動の推進
地域（図書館等）で子どもたちと保護者がいっしょに本に親しむ機会の提供
「おやま・まちづくり出前講座『子どもと読書』」の活用
- (3) 幼稚園や認定こども園・保育園（所）等における子どもの読書活動の推進
読書に親しむ環境づくり
絵本と出会う場の充実
保育内容や研修内容の充実
- (4) 学校等における子どもの読書活動の推進
市内各学校における「小山市おすすめブック」の活用
朝の読書活動の推進
友達、異学年、異校種間の読み聞かせや本の紹介
学校支援ボランティアの受入れの促進
学校図書館の充実
公共図書館との連携の充実
- (5) 市立図書館を中心とした子どもの読書活動の推進
資料（図書等）の整備
読書に関する相談業務の充実
おはなし会の充実
学校との連携の強化
青少年コーナーの充実
外国人へのサービス
ハンディキャップサービス
子ども向けホームページ・情報発信の充実
子ども司書の養成とその活動の促進
「絵本とこんにちは」事業の実施

基本方針 2 . 家庭・学校等・地域における読書環境の整備

- 家庭における読書環境づくりのための取組
- 市立図書館の取組
- 学校図書館の取組
- 幼稚園や認定こども園・保育園（所）・子育て支援施設等の取組

基本方針 3 . 読書活動推進体制の充実

- 関係機関、関係課の連携
- 市民団体やボランティアグループ等との連携

基本方針 4 . 読書活動を推進する人材の育成と活用

- 読書活動を推進する人材育成のための研修体制の整備
- 学んだ成果を生かす機会の提供

SDGsと小山市における子どもの読書活動推進のための施策の関連について

本計画は、4つの基本方針に基づいた32の施策(事業・取り組み)があり、それぞれにSDGsの開発目標を関連付けております。

○本計画で関連しているSDGs(開発目標)



○SDGs17のアイコン



○SDGsの17の目標

1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		

基本方針1 子どもたちと本との出会いの場の設定

(1) 家庭における子どもの読書活動の推進

事業・取り組み	<p>乳幼児期の子どもと保護者が絵本と出会う場の設定</p> 
主な対象	乳幼児及びその保護者
主な担当	中央図書館・健康増進課
事業・取り組みの内容	<p>○乳幼児健康相談(9か月)時における、読み聞かせの実施とおすすめの本の紹介</p> <p>9か月児健康相談事業にあわせて、「絵本とこんにちは」事業を実施します。中央図書館司書が選定した5冊の絵本の中から、対象者が選んだ1冊をプレゼントし、絵本に親しむ機会を提供しています。</p> <p>健康相談会場では、読み聞かせの実施、絵本の紹介、市内図書館で実施しているサービスの利用案内をします。</p> <p>○中央図書館における「すくすく・ほっと・タイム」の実施</p> <p>乳幼時期の子どもと保護者が気兼ねなく利用できる時間を設けています。同じ時間帯に乳幼児期の子ども向けのおはなし会も実施しています。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○9か月児健康相談対象者に絵本のプレゼント(約1,300人/年)</p> <p>健康相談の合間に、読み聞かせや図書館の利用案内を実施</p> <p>○9か月児健康相談未受診者への絵本の受け渡しの検討</p> <p>○中央図書館における「すくすく・ほっと・タイム」の実施とPR</p>

事業・取り組み	<p>おすすめの本との出会いの設定</p> 
主な対象	乳幼児～中・義務教育学校生徒・保護者
主な担当	中央図書館・分館・こども課・学校教育課・生涯学習課
事業・取り組みの内容	<p>○「赤ちゃんから楽しめる絵本」「いっしょに読みたい絵本」「小山市おすすめブック」を活用した家読(うちどく)や読み聞かせの推進</p> <p>「赤ちゃんから楽しめる絵本」「いっしょに読みたい絵本」「小山市おすすめブック」のブックリストを担当課で定期的に見直し、常に魅力的なリストを作成するとともに、リストの本を図書館、市内学校等で積極的に所蔵し、PRに努めます。</p> <p>保護者にリストを配付・PRし、家読(うちどく)や読み聞かせへの活用を勧めます。</p> <p>家読:「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○ブックリストにある本の計画的な購入とPR</p> <p>配本場所:中央図書館、各分館、公民館図書室、配本所</p> <p>冊数:中央図書館は5冊以上、分館等は各1冊以上</p> <p>○「小山市おすすめブック」常設コーナーの設置(市内図書館等・市内学校等)</p> <p>○中央図書館ホームページへの掲載・ブックリストの配付</p>

事業・取り組み	<p style="text-align: center;">保護者が本と出会う機会の提供</p> 
主な対象	保護者
主な担当	中央図書館・分館・こども課・学校教育課
事業・取り組みの内容	<p>○保護者への良書（育児書・絵本等）の紹介 幼稚園・認定こども園・保育園（所）では、保護者向けのたよりや懇談会をとおして、子どもの発達過程に即した本や育児書等の本の推薦や紹介を行います。</p> <p>市内小・中・義務教育学校等では、図書だよりをとおして読書に関する情報を提供します。</p> <p>中央図書館では、ホームページ、リーフレット等をとおして、子ども向けの本や読み聞かせに適している本などの情報を提供します。</p> <p>○児童サービスデスクの活用 図書館司書が、常時子どもの読書に関する相談を受け付けます。</p> <p>○広域利用や移動図書館の実施 より多くの保護者が本と出会える機会が持てるよう、中央図書館以外でも図書の貸出しをします。</p> <p>広域利用できる図書館：栃木市・下野市・野木町・壬生町・結城市・古河市・加須市・板倉町 移動図書館：移動図書館「せきれい」が市内 20 か所を巡回（毎月 1 回）</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○保護者への育児書・絵本等の紹介</p> <p>○広域利用や移動図書館の実施と PR の推進</p>

(2) 地域における子どもの読書活動の推進

事業・取り組み	<p style="text-align: center;">地域（図書館等）で子どもたちと保護者がいっしょに本に親しむ機会の提供</p> 
主な対象	乳幼児～中・義務教育学校生徒・保護者
主な担当	中央図書館・分館・こども課・生涯学習課
事業・取り組みの内容	<p>○地域（図書館等）におけるおはなし会の開催 中央図書館・各分館では、図書館や読み聞かせのボランティアグループ主催の定期的なおはなし会やイベントを実施します。</p> <p>図書館をはじめ、各公民館や公共機関等さまざまな場所で読み聞かせ等の機会を提供するとともに、読み聞かせのボランティアグループ等の自主的な活動を支援して、おはなし会の会場提供等に協力します。</p> <p>○子育てひろば等の中で本に親しむ機会の提供</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○図書館職員・ボランティアによるおはなし会の開催（12回/年） 中央図書館・各分館で、おはなし会を開催します。</p> <p>中央図書館では、5月には「としょかん子どもまつり」、7月には「たなばた会」、8月には子ども向け講座、12月には「クリスマス会」などを開催します。分館でも、「おやま分館ピッコロおはなしかい」、「ままだ分館おはなしかい」、「わくわくマルベリーおはなし会」を開催します。</p> <p>○子育てひろば等の活動の中でのおはなし会を開催</p>

事業・取り組み名	「おやま・まちづくり出前講座『子どもと読書』」の活用  
主な対象	乳幼児～おおむね18歳以下の子ども・保護者
主な担当	中央図書館・生涯学習課
事業・取り組みの内容	○「おやま・まちづくり出前講座」を活用した取り組み 中央図書館が行っている「子どもと読書」の講座を活用した本の選び方や読み聞かせについての講話、出張おはなし会の実施に努めます。関係機関、関係各課へ講座活用を勧め、子どもが本に触れ、親しむ機会を提供します。 活用例：学童保育でのおはなし会 放課後子ども教室でのおはなし会 公民館で実施される親子学級でのおはなし会 公民館で実施される子育て講座や家庭教育学級での講話 学校の図書委員会での講話 ボランティア団体での講話など
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○「おやま・まちづくり出前講座」の活用 多くの人が利用できるように、出前講座の利用例を関係機関、関係各課に提案し、活用を勧めます。また、各種講座での読書活動の推進も検討していきます。

(3) 幼稚園や認定こども園・保育園(所)等における子どもの読書活動の推進

事業・取り組み	読書に親しむ環境づくり  
主な対象	幼稚園・認定こども園・保育園(所)等の子ども・保護者
主な担当	こども課【幼稚園・認定こども園・保育園(所)】
事業・取り組みの内容	○乳幼児・就学前児童が本に親しむ環境づくり 子どもたちが本を見たい時に、自由に手にして楽しめるよう環境を整えます。 子どもたちが気に入った本を繰り返し読んだり、簡単な言葉の模倣をしたり、登場人物に感情移入して、話の展開を楽しみながらイメージを膨らませ劇遊びへと発展させていけるよう、日々の生活と遊びの中で、年齢に応じた読み聞かせを子どもと保育教諭・保育士等と一緒に楽しみながら継続的に実施します。 ○保護者へ育児書・絵本等の紹介 子どもの発達過程に即した良い絵本や童話、子育てに即した育児書等の本の推薦や紹介をおたよりや懇談会等を通して行い、読書活動を子育てに取り入れられるよう促します。 ○家庭で本に親しむ環境づくりの推進 わが子に読み聞かせをする時間を持つことにより、親子の心の交流が図れるとともに、読み聞かせの積み重ねが子どもの心を大きく育み、将来の読書の基礎学習の基盤になることを伝えていきます。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○子どもの興味、関心、年齢、季節などに合わせた本の読み聞かせの実施 ○読み聞かせによる子どもの感性を育む保育の提供 ○家庭で本に親しむ環境づくりの推進

事業・取り組み	絵本と出会う場の充実   
主な対象	幼稚園・認定こども園・保育園（所）等の子ども・保護者
主な担当	こども課【幼稚園・認定こども園・保育園（所）】
事業・取り組みの内容	子どもの発達・興味・関心・季節などに応じた絵本を自由に手にして選ぶことのできる環境の整備と保育の提供を行い、絵本に親しみ、創造する楽しみと出会う機会を積極的に設けていきます。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○本との出会いを大切にする取り組み たくさんある本の中から子どもの発達・興味・関心・季節に合わせて提供します。 ○地域（図書館等）で実施される絵本の読み聞かせなどのイベント、利用についての紹介

事業・取り組み	保育内容や研修内容の充実   
主な対象	幼稚園・認定こども園・保育園（所）の保育教諭・保育士等
主な担当	こども課【幼稚園・認定こども園・保育園（所）】
事業・取り組みの内容	○年間計画・指導計画に基づく取り組み 各園（所）で作成している全体的な計画や年間の指導計画に基づき、保育内容に読書・読み聞かせを取り入れます。 1歳以上3歳未満児においては「身近な人と気持ちを通わせる」というねらいを持ち、本や紙芝居に親しむとともに、簡単な言葉のやり取りを楽しませます。 3歳以上児においては、日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに絵本や物語などに親しむことで、言葉に対する感覚が豊かになります。「友達と心を通わせる」というねらいを持ち、子どもたちが絵本や物語に興味を持って聞いたり、想像する楽しさを味わったりできるような保育を行っています。 今後も継続的に年齢に合わせたカリキュラムをもとに、保育の中で読書活動の推進を実施していきます。 ○保育教諭・保育士等の研修内容の充実 絵本や児童文学の学習や様々な機会を利用し、子どもにとって良い絵本とは何かを考え子どもの成長を促していけるような研修内容の充実を図ります。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○読書活動に関する研修等を通し、保育教諭・保育士等の視野を広げ、子どもの育ちにあった指導計画をもとに、保育の中での読書活動の充実を図る



〈市内保育所での読み聞かせの様子〉

(4) 学校等における子どもの読書活動の推進

事業・取り組み	<p>市内各学校における「小山市おすすめブック」の活用</p> 
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒・保護者
主な担当	学校教育課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	<p>市内小・中・義務教育学校の教職員や児童生徒等の意見をもとに、平成21年度、「小山市おすすめブック」を選定し活用してきました。そして、令和2年度、その一部を改訂しました。</p> <p>各学校では、「小山市おすすめブック」の常設コーナーの設置、「小山市おすすめブック読書カード」の作成、教職員による「小山市おすすめブック」の紹介などを通して、児童生徒が良書に触れることのできる機会を増やすとともに、読書を通じて深く物事を考え、社会の多様性に目を向けられるよう取り組みます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○「小山市おすすめブック」の常設コーナーの設置 ○「小山市おすすめブック読書カード」等の作成 ○学校教職員による「小山市おすすめブック」の紹介

事業・取り組み	<p>朝の読書活動の充実</p> 
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒
主な担当	学校教育課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	<p>この取組は、授業前に心を落ち着かせ、学習に意欲的、探究的に取り組もうとする準備の時間として大切なものです。</p> <p>また、校内読書週間では、この時間に、本の紹介や感想の発表を行う機会を設けたり、教師による読み聞かせを実施したりし、読書意欲の向上に努めます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○朝の読書活動の推進

事業・取り組み	<p>友達、異学年、異校種間の読み聞かせや本の紹介</p> 
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒
主な担当	学校教育課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	<p>○図書委員会活動の充実 小学校高学年から中学校においては、発達段階に応じて児童生徒の自主的な委員会活動が盛んに行われています。その機会を捉え、図書委員会を中心に、他の児童生徒への読み聞かせや本の紹介等、読書イベントを計画・実践しています。</p> <p>○読書活動を通じた交流の場づくり 友達や身近にいる上級生からの読み聞かせは、読書意欲の喚起につながり、また、読み聞かせを行う児童生徒にとっては、本を選び、読む練習をし、心を込めて読み聞かせをすることにより、本への愛着、読書への関心をより深めることが期待できます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○児童生徒による読書イベントの充実に係る支援</p> <p>○児童生徒同士の読書活動を通じた交流の場づくり</p> <p>○子ども司書の活用による読書活動</p>

事業・取り組み	<p>学校支援ボランティアの受入れの促進</p> 
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒
主な担当	学校教育課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	<p>○学校支援ボランティアとの協働による読書環境の充実 ボランティアグループ等が積極的に学校に関わり、読み聞かせや図書室の整備を行うもので教育的効果も期待されています。今後も、ボランティアグループ等の受入体制を充実させ、ボランティアグループ等と教職員、児童生徒が一体となって読書活動を展開していく学校図書館を目指します。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○ボランティアグループ等の受入体制の充実</p> <p>○ボランティアグループ等と教職員、児童生徒が一体となって展開する読書活動の推進</p>

事業・取り組み	学校図書館の充実   
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒
主な担当	学校教育課・教育総務課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	<p>○蔵書の計画的な整備 児童生徒の学校図書館利用促進のためにも、新しい本や学習に役立つ本を、すぐ手に取れる環境作りが大切です。今後も、蔵書整備や図書館だより等による広報活動を行い、魅力ある学校図書館を目指します。</p> <p>○司書教諭の全校配置 市内全校に学校図書館司書教諭の資格をもつ担当者の配置を進めています。図書館教育に精通した教職員が、その専門性を発揮し、購入図書の偏りのない選定を行ったり、蔵書を調べ学習に活用する際の児童生徒への助言を行ったりするなど、効果的な指導が図られるようにしていきます。そして、学校図書館業務を行う事務職員とともに、学校図書館がその機能を十分に発揮できるように努めてまいります。</p> <p>○市内小中学校への学校図書館司書の配置に向けた取り組み 読書活動の充実の要となる人材の配置について財政状況を勘案し、計画的に行うこととします。まずは、中学校区単位に配置し、中学生の読書離れに歯止めをかけるとともに、関係小学校等を巡回して学校図書館業務の円滑な推進を図ります。</p> <p>○学校図書館システムの効果的運用 図書検索機能等により児童生徒一人ひとりのニーズに合った本の紹介等を行い、活発な読書活動につなげます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○蔵書の計画的な整備 ○司書教諭と学校図書館司書の全校配置 ○学校図書館システムの効果的運用

事業・取り組み	公共図書館との連携の充実  
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒
主な担当	学校教育課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	<p>中央図書館の団体貸出や移動図書館の活用など、公共図書館との連携を推進する取組です。</p> <p>学校図書館は、限られたスペースで資料を管理しなければならない関係上、蔵書にも限界があります。公共図書館の豊かな蔵書や資料等をより有効に活用することが、児童生徒の読書環境の充実につながると考えます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○公共図書館との連携の推進（「図書館だより」等を通じた情報提供） ○中央図書館の団体貸出や移動図書館の活用

(5) 市立図書館を中心とした子どもの読書活動の推進

事業・取り組み	資料（図書等）の整備     
主な対象	乳幼児～おおむね 18 歳以下の子ども・保護者
主な担当	中央図書館・分館
事業・取り組みの内容	<p>○資料の充実</p> <p>図書館で、図書や紙芝居、雑誌などの資料を収集し、増加を図ります。絵本や児童書、紙芝居、青少年向け図書を、バランス良く収集し、子どもの年齢やニーズに応じた資料の整備・充実を図ります。</p> <p>学校の総合学習や調べ学習に対応した、参考図書の充実にも努めます。大人が子どもの本や読み聞かせ等に関する知識・情報を得るための資料を収集し、子どもの読書活動に関わる資料の整備・充実を図ります。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○中央図書館で年間約 1,000 冊の児童書・青少年向け一般書を増加</p> <p>赤ちゃんから、青少年向けまで幅広く収集し、ビッグブックなど読み聞かせに使用する本や、読み聞かせ等に関する知識・情報を得るための資料も収集します。</p>

事業・取り組み	読書に関する相談業務の充実   
主な対象	乳幼児～おおむね 18 歳以下の子ども・保護者
主な担当	中央図書館・分館
事業・取り組みの内容	<p>○相談業務の充実</p> <p>専任の児童サービス担当者（司書）の配置を継続し、子どもの読書や調べ物の相談、子どもの本に関する相談に、積極的に応じることで相談業務の強化に努めます。</p> <p>子どもたちの年齢や学年に合わせた本の紹介などにより、読書への関心を高めます。</p> <p>成長とともに読む本の内容も変わるこの時期の子どもたちの読書の相談に、司書が対応することで、学年が上がっても、図書館を継続して利用できるようすすめます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○読書活動を推進するための司書及び図書館職員による相談業務の PR</p> <p>(HP、館内掲示、「おやまっ子開運子育てナビ」等の子育て支援サイト等)</p>

事業・取り組み	<p style="text-align: center;">おはなし会の充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>1 貧困をなくそう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  </div> </div>
主な対象	乳幼児～6歳未満・保護者
主な担当	中央図書館・分館
事業・取り組みの内容	<p>○子ども向けのさまざまな行事の開催 幼児や児童に本の楽しさを伝えるおはなし会を、職員やボランティアグループにより定期的で開催します。 中央図書館のほか、小山分館・間々田分館・桑分館の各分館で定期的におはなし会を開催します。 学校や地域の求めに応じて、出前講座でおはなし会を実施したり、おはなしボランティアグループを紹介したりするなど、図書館だけではなく、地域にもおはなしの輪を広げていきます。</p> <p>○ボランティアグループによるおはなし会の開催援助 ボランティアグループとの協力体制の強化に努め、対象年齢や内容など、それぞれのニーズに合わせたおはなし会を開催するなど、子どもと本を結びつける取り組みの充実に努めます。 ボランティアグループにより中央館・各分館で開催されているおはなし会をサポートします。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○司書・図書館職員によるおはなし会の開催 「おはなしウエンディ」「おはなしウエンディ0・1・2」「ままだ分館おはなし会」などを毎月1回開催します。</p> <p>○ボランティアグループによるおはなし会の開催 中央図書館で開催されるボランティアグループによる「おはなし会」をサポートします。</p>



おはなしウエンディの様子



とよか子ども会クリスマス会での読み聞かせの様子

事業・取り組み	学校との連携の強化   
主な対象	小・中・義務教育学校児童生徒・学校関係者・保護者
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	<p>○小学校への移動図書館の巡回 図書館では、学校に対して、団体貸出や移動図書館の巡回を行っており、今後もその利用促進に努めます。 また、学校と連携し、子どもたちが図書館を理解・利用するよう協力します。</p> <p>○学校図書館支援担当による学校図書館の支援 平成 30 年度より、中央図書館に学校図書館支援担当が配置されたため、図書館と、学校図書館の連携をより充実させます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○学校への移動図書館の巡回、団体貸出の実施 市内の小学校・義務教育学校のうち 16 校に移動図書館が巡回します。 学校の学年単位、学級単位などでの団体貸出を行います。</p> <p>○学校からの図書館見学や職場体験学習の受け入れ</p> <p>○学校等における総合学習・調べ学習への対応</p> <p>○学校図書館支援担当による学校図書館の支援強化 各学校に配置された学校図書館業務を行う会計年度任用職員（学校事務）への研修（年 3 回）、学校図書館システムの運営・保守、学校図書館への訪問を行い、意見交換・情報交換などを通し連携を進めます。</p>

事業・取り組み	青少年コーナーの充実   
主な対象	中・義務教育学校生徒・高校生・保護者
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	<p>青少年コーナーの充実 中央図書館では、中学生から高校生を主な対象にした「青少年コーナー」を利用し、青少年の読書をすすめていきます。 読書離れの傾向が懸念されるこの世代の読書活動を支援するため、読んでみたくなるような本を紹介するブックリストを作成します。 学習室を利用している中・義務教育学校生・高校生が読書にも興味を持ってもらえるような取り組みや、落ち着いて居心地よく本に触れることができるよう、家具の配置を工夫するなど、環境の整備にも努めます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○青少年コーナーの資料の充実 ブックリストを作成して、本の紹介をします。(2 か月に 1 回)</p>

事業・取り組み	外国人へのサービス     
主な対象	外国人及びその支援者
主な担当	中央図書館・分館
事業・取り組みの内容	外国人へのサービス 中央図書館児童開架室の外国語絵本コーナーや、一般開架室の外国書コーナーを活用し、今後も英語をはじめ、多様な言語の絵本や児童書の資料収集、提供に努めます。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	外国書の本を毎年計画的に購入 学校と連携し、資料の貸出を推進

事業・取り組み	ハンディキャップサービス    
主な対象	視覚障がい者、通常の資料を読むことが困難な方
主な担当	中央図書館・分館
事業・取り組みの内容	○障がいのある子ども向けの資料の充実 点字で書かれた本や、ボランティアグループ等によって点訳された本の受け入れや朗読CDなどの受け入れなど資料の充実を図ります。 関係機関との連携を深め、障がいのために図書館の利用が困難な子どもたちへ、図書館サービスの提供に努めます。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○障がいのある子ども向けの資料の充実 点字本、さわる絵本、布の絵本、LLブックなどの本を毎年計画的に購入します。 ○学校と連携し、資料の紹介・貸出を推進 ○郵送による貸出、宅配によるサービス ○点字・音声データなどでの情報提供（サピエ図書館）の強化 サピエ図書館：活字読書が困難な方向けに視覚障がい者情報総合ネットワーク「サピエ図書館」のホームページからダウンロードした「デイジー図書」を貸し出すサービス

事業・取り組み	子ども向けホームページ・情報発信の充実  
主な対象	乳幼児～おおむね18歳以下の子ども・保護者
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	○図書館のホームページの内容の更新・充実 子ども向けの利用案内やイベント等を掲載する「こどもページ」を設け、子どもたちをはじめ、子どもと本をつなぐ大人たちが、ホームページから気軽に図書館の情報を得られるようにします。 インターネットを通じた、蔵書検索・予約・レファレンスの申し込み及び事例検索、読書記録を管理できる「マイ本棚」の機能等PRしてまいります。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○ホームページの内容の更新・充実 図書館のシステムの入替えにともない、ホームページを更新します。

事業・取り組み	子ども司書の養成とその活動の促進  
主な対象	小学校・義務教育学校の5・6年生
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	<p>○子ども司書の養成</p> <p>「子ども司書養成セミナー」を実施し、子どもの目線で学校図書館の資料整理をしたり、同世代の子どもへ本を紹介したり、読み聞かせの活動をしたりする「子ども司書」を養成し、読書活動推進の担い手の輪を広げます。今後も、セミナーを継続して実施していくとともに、「子ども司書」に認定された子どもたちの活動の促進を図ります。</p> <p>「子ども司書」が、読書推進リーダーとして、図書館をはじめ、学校でも活躍できるよう学校との協力体制づくりに努めます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○毎年16名程度の子ども司書を養成</p> <p>○学校図書館での活動の促進</p> <p>子ども司書が、学校図書館の手伝いや、図書委員・図書係として積極的に活動したり、読み聞かせをするなど、各自のできる範囲で活動します。</p>



(子ども司書として本の貸し出し体験)



(子ども司書として図書館の本の整理を体験)

事業・取り組み	「絵本とこんにちは」(絵本とふれあうしあわせ)事業の実施   
主な対象	小山市に住所を有する9か月児健康相談対象児及びその保護者
主な担当	中央図書館・健康増進課
事業・取り組みの内容	<p>○乳幼児健康相談(9か月)時における、読み聞かせの実施とおすすめの本の紹介</p> <p>9か月児健康相談事業にあわせて、「絵本とこんにちは」事業を実施します。中央図書館司書が選定した5冊の絵本の中から、対象者が選んだ1冊をプレゼントし、絵本に親しむ機会を提供しています。</p> <p>健康相談会場では、読み聞かせの実施、絵本の紹介、市内図書館で実施しているサービスの利用案内をします。</p> <p>中央図書館と健康増進課が協働し、乳幼児期における絵本との出会いの大切さを伝えます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○9か月児健康相談対象者に絵本のプレゼント(約1,300人/年)</p> <p>9か月児健診対象者に絵本のプレゼント・読み聞かせ・図書館で行っているサービスについて案内します</p>

基本方針2 家庭・学校等・地域における読書環境の整備

事業・取り組み	<p style="text-align: center;">家庭における読書環境づくりのための取組</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  </div> </div>
主な対象	乳幼児～おおむね18歳以下の子ども・保護者
主な担当	中央図書館・こども課・健康増進課・学校教育課・生涯学習課(公民館)
事業・取り組みの内容	<p>家庭における発達段階を踏まえた継続的な読書活動の推進 「小山市における子どもの年齢・成長に合わせた読書体験のための取り組み」(資料5参照)の活用を薦めます。</p> <p>乳幼児期における読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵本とこんにちは事業」を通じた家庭での読み聞かせの推進 「絵本とこんにちは」事業をとおして、乳幼児期の読み聞かせが子どもの読書活動の基礎となることを知らせ、家庭での取組を勧めます。 ・中央図書館における「すくすく・ほっと・タイム」の実施 乳幼児期の子どもと保護者が気兼ねなく図書館を利用できる時間帯を設けます。保護者が家庭で読書や読み聞かせをするきっかけとなるよう、安心して読書に親しめる場を提供します。 ・年齢にあったおすすめブックを活用した家読(うちどく)の推進 おすすめブックを活用した家読のきっかけとなるよう、おすすめブックリストを配付します。 ・子どもの読書活動を推進するためのイベント・講座等の実施 家庭での読書活動のきっかけとなるよう、子どもや保護者が読書に興味をもてるような魅力的なイベントや講座を開催します。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○家庭における発達段階を踏まえた継続的な読書活動の推進

事業・取り組み名	<p style="text-align: center;">市立図書館の取り組み</p> 
主な対象	乳幼児～おおむね 18 歳以下の子ども・保護者
主な担当	中央図書館・分館
事業・取り組みの内容	<p>中央図書館の施策について</p> <p>小山市には、中央図書館、3館の分館（小山・間々田・桑）5か所の公民館図書室（絹・生井・寒川・中・大谷）3か所の配本所（穂積・豊田・城南）移動図書館（せきれい）があります。</p> <p>平成 28 年 4 月には、桑地区の中心施設に桑分館が開館し、ますます充実した図書館サービスを展開しています。</p> <p>各施設では、直接来館する子どもたちのために、絵本や読み物、調べ物の本などの蔵書の充実を図り、その提供に努めます。</p> <p>資料の効率的な利用を図るため、中央図書館、分館、公民館図書室等の図書館ネットワークを活用した資料の相互利用を推進します。</p> <p>中央図書館は、市立図書館における中心的役割を果たし、安全で利用しやすい施設・設備の充実と、子どもたちのための資料の充実を図ります。今後は、子育て中の親も図書館を気軽に利用できるよう、環境整備に努めます。</p> <p>○市内図書館の充実</p> <p>中央図書館と分館等の資料（図書等）の効率的な利用を図るため、中央図書館、分館、公民館図書室等の図書館ネットワークを活用した資料の相互利用を推進します。</p> <p>令和 6 年度の大谷地区中心施設（大谷市民交流センター）の設置に伴い、大谷公民館図書室を分館として開館するための計画を進めます。</p> <p>○図書館システムの更新に合わせた電子書籍の導入の検討</p> <p>図書館のシステムの更新の際に、新たに電子書籍の導入について、検討します。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○大谷公民館図書室を分館として開館</p> <p>大谷公民館図書室を分館として整備し、蔵書数・貸出数の増加を図ります。</p> <p>分館としてサービスを向上させることにより、中央図書館や他の分館との連携（資料の配送のスピード化）を図ります。</p> <p>○電子書籍の導入の検討</p>



(中央図書館の外観)

事業・取り組み	学校図書館の取り組み   
主な対象	市内小・中・義務教育学校児童生徒
主な担当	学校教育課・市内小・中・義務教育学校
事業・取り組みの内容	小山市中央図書館総合ネットワーク事業の一環として、平成 21 年度から市内全小中学校の学校図書館の蔵書管理が電算化されました。このことにより、学校図書館の蔵書情報が把握しやすくなりました。児童生徒が利用する際に役立つよう、学習・情報センターとしての機能と、読書センターとしての機能を併せもった学校図書館の充実を目指します。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	学習・情報センターとしての機能と、読書センターとしての機能を併せもつ学校図書館の充実

事業・取り組み	幼稚園・認定こども園・保育園（所）・子育て支援施設等の取り組み    
主な対象	就学前の子ども・保護者
主な担当	こども課・幼稚園・認定こども園・保育園（所）(生涯学習課・公民館・中央図書館)
事業・取り組みの内容	各施設内、保育室内において子どもの発達、興味、関心、季節などを考慮して、子どもたちが自分で本を「自由に手にして選べる」環境の整備と成長の段階にふさわしい本を選び、読書への関心が高まるよう環境の整備に努めます。 市立図書館・分館等公共施設等で行われる活動・イベント等の利用につなげるための PR に協力します。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○読書がしやすい環境づくり 幼稚園や認定こども園・保育園（所）内に読書コーナーを設け、保育室内に本を自由に手に取って選べるスペースを作るなど、読書の機会を促進します。



（市内保育所での読み聞かせの様子）

基本方針3 読書活動推進体制の充実

事業・取り組み	関係機関、関係課の連携    
主な対象	乳幼児～中・義務教育学校生徒・保護者
主な担当	中央図書館・こども課・健康増進課・学校教育課・生涯学習課
事業・取り組みの内容	○小山市子ども読書活動推進計画の推進 中央図書館・こども課・健康増進課・学校教育課・生涯学習課など関係機関・関係各課・関係施設が連携をとりながら、子どもの読書活動に関する情報を共有し、計画の推進を図ります。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○小山市子どもの読書活動推進計画の推進

事業・取り組み	市民団体やボランティアグループ等との連携   
主な対象	市民団体・ボランティアグループ
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	○市民団体やボランティアグループ等との連携 市民団体やボランティアグループ等と連携し、子どもの読書活動を今後も推進します。 ○図書館事業におけるボランティアの協力 子どもの本に関わるボランティアグループ等と連携した事業を実施します。 市内小・中・義務教育学校で開催するおはなし会への協力 学校等の求めに応じて、学校で開催するおはなし会におはなしボランティアを派遣します。 中央図書館ボランティアの募集 年間を通して、中学生以上を対象に募集します。活動内容は、中央図書館及び分館で図書の整理や修理、図書館主催行事の協力、利用者へのサービス案内です。
【計画・目標】 (R3～R7年度)	○市民団体やボランティアグループ等との連携 「おはなし会」、「中央図書館まつり」を市民団体やボランティアグループ等と連携し、開催します。 ○図書館事業におけるボランティアの協力 絵本とこんにちは事業、子ども司書養成セミナーにボランティアの協力を得ます。

基本方針4 読書活動を推進する人材の育成と活用

事業・取り組み	読書活動を推進する人材育成のための研修体制の整備   
主な対象	一般市民・市民団体・ボランティアグループ
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	<p>○ボランティアの人材育成 子どもの本や読書指導に関する知識や読み聞かせ等の技術を有する人材育成のため、関係機関との連携や、レベルアップ等を踏まえて研修体制を整備していきます。 多くの市民で子どもたちを支え、読書活動を推進する担い手の輪を広げます。</p> <p>○「おやま・まちづくり出前講座」の活用 中央図書館が行っている「子どもと読書」の講座を活用し、読み聞かせグループ・団体等に対して、絵本の選び方や読み聞かせについての講話の受講を勧め、人材の育成に努めます。</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○「子どもと本をつなぐ講座」の実施 絵本の読み聞かせの仕方やおはなしの語り方などについて、専門の講師から学ぶ講座を実施し、人材の育成に努めます。(年1回)</p>



〈中央図書館主催の講座の様子〉

事業・取り組み	学んだ成果を生かす機会の提供   
主な対象	市民団体・ボランティアグループ
主な担当	中央図書館
事業・取り組みの内容	<p>○市民団体やボランティアグループ等の活動機会の提供 子どものために読み聞かせやおはなしなどを行うボランティアグループが、積極的に活動できる仕組み作りに努めます。 市民団体やボランティアグループ等と連携して、図書館、学校、幼稚園や認定こども園、保育園(所)等でおはなし会を実施するなど、子どもの読書活動を推進するとともに、子どもの読書環境整備に努めます。</p> <p>○仲間たちのあゆみ展、絵本や紙芝居の読み聞かせ等の開催</p>
【計画・目標】 (R3～R7年度)	<p>○市民団体やボランティアグループ等の活動機会の提供 子どもの読書活動を推進するための活動を、市民団体やボランティアグループ等と協働して取り組むとともに、自主的な活動に協力し、会場の提供、手配、PRなどを行います。</p>

第5章

啓発・広報活動の推進



子どもの読書活動のための啓発・広報活動について

小山市では、多くの子どもたち(市民の方々)に、「本との出会い」「本に親しむ体験」をしていただけるよう、さまざまな機会を設けるとともにその取り組みを発信しています。

行事・取り組み	時期	取り組みの内容
「子ども読書の日」	4月23日	○子どもたちが読書への関心を高めるような行事を実施し、その啓発に努めます。
「こどもの読書週間」	4月23日～ 5月12日まで	○中央図書館では毎年、「こどもの読書週間」にはおはなし会や来館者のおすすめの本を紹介する展示などを行います。
「読書週間」	10月27日～ 11月9日まで	○図書館をはじめ、各関係機関ではおはなし会や児童書の展示、児童文学作家による講演会など子どもやその保護者を対象にした読書に関わる多彩な取り組みを行います。 ○家庭でも読書習慣の形成を図れるよう、啓発に努めます。
仲間たちのあゆみ展	読書週間中	○市民団体による活動の成果を発表し、読書活動の啓発PRを行います。
「家庭の日」	毎月第3日曜	○家庭での読書活動を推進するための啓発をします。
おすすめブックリスト	通年	○小山市の推薦図書を一覧にしたものです。 乳児用、未就学児用、学校用(低学年・中学年、高学年、中学校4部門からなります。)、青少年コーナーのおすすめブックリストを活用した取り組みを実施します。資料編(資料4)参照
「子どもと本をつなぐ講座」の開催	年1回	○絵本の読み聞かせの仕方やおはなしの語り方などについて、専門の講師から学ぶ講座を開催し、子どもと本をつなぐ担い手を育成します。
絵本とこんにちは事業	年間30回	○9か月児健康相談会場で、中央図書館司書が選定した5冊の絵本の中から、対象者が選んだ1冊をプレゼントし、絵本に親しむ機会を提供しています。健康相談会場では、読み聞かせの実施、絵本の紹介、市内図書館で実施しているサービスの利用案内をします。
「図書館だより」発行	毎月発行	○おはなし会やイベント等、館内の催しについてお知らせします。HP等で掲載し、来館者に配布します。
「としょかん通信」	毎月	○図書館の活動を小山市広報に毎月掲載しています。おはなし会や移動図書館「せきれい」の実施スケジュール、イベントなどを紹介します。
図書館ホームページの運営	通年	○図書館専用ホームページで、「子どものページ」を設け「利用案内」、「おはなし会・イベント」の案内、「おすすめ本」の案内、「子どもと本をつなぐ方へ」の案内を情報発信しています。
「小山市立中央図書館要覧」の作成	毎年発行	○小山市の情報発信基地として、市民の学習・創作活動を援助し、市民とともに歩む図書館づくりを発信していただくため作成しています。図書館の利用案内をご覧ください。

資料編

- 資料1 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 資料2 子どもの読書活動をめぐる国・県・市の動向
- 資料3 小山市子ども読書活動推進計画策定委員会
設置規則
- 資料4 おすすめブックリスト
- ・ 赤ちゃんから楽しめる絵本
 - ・ いっしょに読みたい絵本
 - ・ 小山市おすすめブック
- 資料5 小山市における子どもの年齢・成長に合わせた
読書体験のための取り組み
- 資料6 読書活動に携わる団体や活動
- 資料7 アンケート調査結果

子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実に及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

1 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。

2 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。

3 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことできる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。

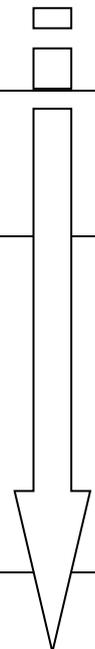
4 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。

5 子ども健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。

6 国及び地方公共団体実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

子どもの読書活動をめぐる国・県・市の動向

年 表	国 の 動 向	栃 木 県 の 動 向	小 山 市 の 動 向
平成 12 年 (2000 年)	○子ども読書年 ○国際子ども図書館の設立		
平成 13 年 (2001 年)	○ <u>子どもの読書活動の推進</u> <u>に関する法律</u> の公布・施行 ○4月23日を「子ども読書の 日」制定		
平成 14 年 (2002 年)	○ <u>子どもの読書活動の推進</u> <u>に関する基本的な計画</u> (第一次)の閣議決定		
平成 16 年 (2004 年)		○栃木県子どもの読書活 動推進計画(第一期)の 策定	
平成 17 年 (2005 年)	○ <u>文字・活字文化振興法</u> の 公布・施行		
平成 18 年 (2006 年)	○ <u>教育基本法</u> の改正		○小山市子ども読書活動 推進計画(第一期)の期間 (平成 18 年～22 年)
平成 19 年 (2007 年)	○ <u>学校教育法等基本教育</u> <u>三法</u> の改正		□ □
平成 20 年 (2008 年)	○ <u>子どもの読書活動の推進</u> <u>に関する基本的な計画</u> (第 二次)の閣議決定 ○ <u>図書館法</u> の改正		↓
平成 21 年 (2009 年)		○栃木県子どもの読書活 動推進計画(第二期)の 策定	
平成 22 年 (2010)	○国民読書年		

平成 23 年 (2011)			○小山市子ども読書活動推進計画(第二期)の期間 (平成 23 年～27 年)
平成 24 年 (2012)	○著作権法の改正 ○図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正		
平成 25 年 (2013)	○子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(第三次)の閣議決定		
平成 26 年 (2014)	○学校図書館法の一部を改正する法律公布 1. 学校司書の配置に努めなければならない。 2. 学校司書の資質の向上を図るための措置を講ずるよう努めなければならない。	○栃木県子どもの読書活動推進計画(第三期)の策定	
平成 27 年 (2015)			
平成 28 年 (2016)			○小山市子ども読書活動推進計画(第三期)の期間 (平成 28 年～令和 2 年)
平成 29 年 (2017)			
平成 30 年 (2018)	○子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次)の閣議決定		
令和元年 (2019)	○視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)公布・施行	○栃木県子どもの読書活動推進計画(第四期)の策定	
令和 2 年 (2020)			
令和 3 年 (2021)			○小山市子ども読書活動推進計画(第四期)の期間 (令和 3 年～令和 7 年)

小山市子ども読書活動推進計画策定委員会設置規則

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)の規定に基づき、小山市子ども読書活動推進計画を策定するに当たり、当該計画の策定に資するため、小山市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 子どもの読書活動に係る調査研究に関すること。
- (2) 小山市子ども読書活動推進計画の原案に関すること。
- (3) その他子ども活動の推進に関する事項

(組織等)

第3条 委員会は、10人以内の委員をもって組織する。

2 委員会の委員は、別表に掲げる者及び次に掲げる者の中から小山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱したものとする。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係機関の役員又は職員
- (3) 関係団体の役員等
- (4) 市立公民館の代表
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 前条第2項の規定により委嘱された委員の任期は、委嘱された日から小山市子ども読書活動推進計画が策定されたときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長には教育部長、副委員長には教育委員会事務局生涯学習課長の職にある者をもって充てる。

(委員長の職務等)

第6条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、特に必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門部会)

第8条 委員会の所掌事務を補佐するため、小山市子ども読書計画推進計画策定委員会専門部会(以下「専門部会」という。)を置く。

- 2 専門部会について必要な事項は、委員長が定める。

(報告)

第9条 委員会は、その会議、活動等を教育委員会及び市長に報告するものとする。

(庶務)

第10条 委員会及び専門部会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

別表

教育部長	教育委員会事務局 生涯学習課長	学校教育課長
中央図書館長	保健福祉部こども課長	

	書名	著者名	画家名	訳者名	出版社
1	あがりめさがりめ		ましませつこ		こぐま社
2	いないいないばあ	松谷みよ子	瀬川康男		童心社
3	おつきさまこんばんは	林明子			福音館書店
4	おててがでたよ	林明子			福音館書店
5	おにぎり	平山英三	平山和子		福音館書店
6	かおかおどんなかお	柳原良平			こぐま社
7	がたんごとんがたんごとん	安西水丸			福音館書店
8	がちゃがちゃどんどん	元永定正			福音館書店
9	きゅっきゅっきゅっ	林明子			福音館書店
10	きんぎょがにげた	五味太郎			福音館書店
11	くだもの	平山和子			福音館書店
12	くつつあるけ	林明子			福音館書店
13	こんにちはどうぶつたち	とだきょうこ / 案	さとうあきら / 写真		福音館書店
14	くつついた	三浦太郎			こぐま社
15	じゃあじゃあびりびり	まついのりこ			偕成社
16	しろ、あか、きいろ	ディック・ブルーナ		松岡享子	福音館書店
17	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやまけん			こぐま社
18	ずかん・じどうしゃ	山本忠敬			福音館書店
19	ぞうくんのさんぽ	なかのひろたか なかのまさたか			福音館書店
20	たまごのあかちゃん	かんざわとしこ	やぎゅうげんいちろう		福音館書店
21	でんしゃ	バイロン・バートン		こじまもる	金の星社
22	どうすればいいのかな?	わたなべしげお	おおともやすお		福音館書店
23	どうぶつのおかあさん	小森厚	藪内正幸		福音館書店
24	どうぶつのおやこ		藪内正幸		福音館書店
25	なーんだなんだ	カズコG・ストーン			童心社
26	にんじん	せなけいこ			福音館書店
27	ねこがいっぱい	グレース・スカール		やぶきみちこ	福音館書店
28	ぴょーん	まつおかたつひで			ポプラ社
29	ママだいすき	まど・みちお	ましませつこ		こぐま社
30	まるくておいしいよ	こにしえいこ			福音館書店

小山市立中央図書館の司書が選んだ0・1・2歳児を対象とした絵本のリストです。

2021.3

No.	書名	著者名	画家名	訳者名	出版社
1	あおくときいろちゃん	レオ・レオーニ		藤田圭雄	至光社
2	赤ずきん		バーナディット・ワッツ	生野幸吉	岩波書店
3	あらしのよるに	木村裕一	あべ弘士		講談社
4	アンガスとあひる	マージョリー・フラック		瀬田貞二	福音館書店
5	いたずらきかんしゃちゅうちゅう	バージニア・リー・パートン		むらおかはなこ	福音館書店
6	いたずらこねこ	バーナディン・クック	レミイ・チャーリップ	まさきりこ	福音館書店
7	いちご	平山和子			福音館書店
8	いちごばたけのちいさなおばあさん	わたりむつこ	中谷千代子		福音館書店
9	いっすんぼうし	いしいももこ	あきのふく		福音館書店
10	うさこちゃんとうみ	ディック・ブルーナ		いしいももこ	福音館書店
11	おおかみと七ひきのこやぎ	(グリム童話)	フェリクス・ホフマン	せたていじ	福音館書店
12	おおきくなるっていうことは	中川ひろたか	村上康成		童心社
13	おおきななぐ	A・トルストイ	佐藤忠良	内田莉沙子	福音館書店
14	おいしいのぼうけん	ふるたたるひ、たばたせいいち			童心社
15	おしゃべりなたまごやき	寺村輝夫	長新太		福音館書店
16	おだんごばん	(ロシア民話)	わきたかず	せたていじ	福音館書店
17	おふるだいすき	松岡享子	林明子		福音館書店
18	おまたせクッキー	ハッチンス		乾侑美子	偕成社
19	おんなじおんなじ	多田ヒロシ			こくま社
20	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック		じんぐうてるお	富山房
21	かにむかし	木下順二	清水崑		岩波書店
22	かばくん	岸田衞子	中谷千代子		福音館書店
23	かもさんおとおり	ロバート・マックロスキー		わたなべしげお	福音館書店
24	かようびのよる	デヴィッド・ウィズナー		当麻ゆか	徳間書店
25	からすのパンやさん	加古里子			偕成社
26	かわいいあひるのあかちゃん	モニカ・ウェリントン		たがきょうこ	徳間書店
27	きかんしゃやえもん	阿川弘之	岡部冬彦		岩波書店
28	キャベツくん	長新太			文研出版
29	ぎゅっ	ジェズ・オールバラ			徳間書店
30	くいしんぼうのはなこさん	いしいももこ	なかたにちよこ		福音館書店
31	くまのコーレテンくん	ドン＝フリーマン		まつおかきょうこ	偕成社
32	くまのピーディーくん	ドン＝フリーマン		まつおかきょうこ	偕成社
33	ぐりとぐら	なかがわりえこ	おおむらゆりこ		福音館書店
34	ぐるんぱのようちえん	西内みなみ	堀内誠一		福音館書店
35	こずめめのぼうけん	ルース・エインワース	堀内誠一	石井桃子	福音館書店
36	これはのみのぴこ	谷川俊太郎	和田誠		サンリード
37	3びきのくま		パスネツォフ	おがさわらとよき	福音館書店
38	三びきのこぶた	(イギリス昔話)	山田三郎	瀬田貞二	福音館書店
39	三びきのやぎのがらがらどん	(北欧民話)	マーシャ・ブラウン	せたていじ	福音館書店
40	しずくのぼうけん	マリア・テルリコフスカ	ポフダン・ブテンコ	うちだりさこ	福音館書店
41	しっぽのはたらき	川田健	藪内正幸		福音館書店
42	14ひきのひっこし	いわむらかずお			童心社
43	しょうぼうじどうしゃじぶた	渡辺茂男	山本忠敬		福音館書店
44	しろいうさぎとくろいうさぎ	ガース・ウィリアムズ		まつおかきょうこ	福音館書店
45	スイミー	レオ＝レオーニ		谷川俊太郎	好学社
46	すてきな三にんぐみ	トミー＝アンゲラー		いまえよしとも	偕成社
47	ゼラルダと人喰い鬼	トミー＝ウンゲラー		たむらりゅういち あそうくみ	評論社
48	そらいろのたね	なかがわりえこ	おおむらゆりこ		福音館書店
49	そらめくんのベッド	なかやみわ			福音館書店
50	だいくとおにろく	松居直	赤羽末吉		福音館書店

No.	書名	著者名	画家名	訳者名	出版社
51	たまごにいちゃん	あきやただし			すずぎ出版
52	だるまちゃんてんぐちゃん	加古里子			福音館書店
53	たんぼぼ	甲斐信枝			金の星社
54	ちいさいおうち	ばーじにあ・リー・ばーとん		いしいももこ	岩波書店
55	ちいさなヒッポ	マーシャ＝ブラウン		うちだりさこ	偕成社
56	ちいちゃんのさんぼ	しみずみちを			ほるぷ出版
57	ちからたろう	いまえよしとも	たしませいぞう		ポプラ社
58	ちびゴリラのちびちび	ルース・ポーンスタイン		いわたみみ	ほるぷ出版
59	ティッチ	パット・ハッチンス		いしいももこ	福音館書店
60	てぶくろ	エウゲーニー・M・ラチョフ		うちだりさこ	福音館書店
61	どうぞのいす	香山美子	柿本幸造		ひさかたチャイルド
62	どうながのプレツェル	マーグレット・レイ	H.A.レイ	わたなべしげお	福音館書店
63	トマトさん	田中清代			福音館書店
64	ともだちや	内田麟太郎	降矢なな		偕成社
65	とりかえっこ	さとうわきこ	二俣英五郎		ポプラ社
66	どろぼうがっこう	加古里子			偕成社
67	どろんこぶた	アーノルド・ローベル		岸田衿子	文化出版局
68	どろんこハリー	ジーン・ジオン	マーガレット・フロイ・グレアム	わたなべしげお	福音館書店
69	ねずみくんのチョコキ	なかえよしを	上野紀子		ポプラ社
70	のろまなローラー	小出正吾	山本忠敬		福音館書店
71	はけたよはけたよ	かんざわとしこ	にしまさかやこ		偕成社
72	はじめてのおつかい	筒井頼子	林明子		福音館書店
73	はなをくんくん	ルース・クラウス	マーク・サイモント	きじまはじめ	福音館書店
74	はははのはなし	加古里子			福音館書店
75	パムとケロのおかいもの	島田ゆか			文溪堂
76	はらぺこあおむし	エリック＝カール		もりひさし	偕成社
77	ピーターのいす	E＝ジャック＝キーツ		きじまはじめ	偕成社
78	ピッツァぼうや	ウィリアム・スタイグ		木坂涼	セーラー出版
79	ひとまねこざるときいろいろし	H.A.レイ		光吉夏弥	岩波書店
80	100万回生きたねこ	佐野洋子			講談社
81	ふしぎなナイフ	中村牧江 林健造	福田隆義		福音館書店
82	ぶたぶたくんのおかいもの	土方久功			福音館書店
83	ブレーメンのおんがくたい	(グリム童話)	ハンス・フィッシャー	せたていじ	福音館書店
84	フレデリック	レオ＝レオニ		谷川俊太郎	好学社
85	ぼとんぼとんはなんのおと	神沢利子	平山英三		福音館書店
86	まあちゃんのながいかみ	たかどのほうこ			福音館書店
87	まどからおくりもの	五味太郎			偕成社
88	まほうのえのぐ	林明子			福音館書店
89	めっきらもっきらどおんどん	長谷川摂子	ふりやなな		福音館書店
90	モチモチの木	斎藤隆介	滝平二郎		岩崎書店
91	ものぐさトミー	ペーン・デュボア		松岡享子	岩波書店
92	ももたろう	松居直	赤羽末吉		福音館書店
93	もりのなか	マリー・ホール・エツ		まさきりこ	福音館書店
94	やさしいおなか	きうちかつ			福音館書店
95	ゆかいなかえる	ジュリエット・キープス		いしいももこ	福音館書店
96	よあけ	ユリー・シュルヴィッツ		瀬田貞二	福音館書店
97	よかったねネッドくん	チャーリップ		やぎたよしこ	偕成社
98	ラチとらいおん	マレーク・ペロニカ		とくながやすとも	福音館書店
99	わゴムはどのくらいひるかしら？	マイク・サーラー	ジェリー・ジョイナー	きしだえりこ	ほるぷ出版
100	わたしのワンピース	にしまさかやこ			こくま社

小山市立中央図書館の司書が選んだ未就学児を対象とした絵本のリストです。

2021.3

資料4

小山市おすすめブック(低学年)

	書名	著者名	備考
1	王さまと九人のきょうだい 中国の民話	君島久子/訳 赤羽末吉/絵	
2	おおきなきがほしい	佐藤さとる/文 村上勉/絵	
3	おさるのまいにち	いとうひろし/作・絵	S
4	おへそのあな	長谷川義史/作	
5	からすのパンやさん	かこさとし/絵・文	S
6	きいろいばけつ	もりやまみやこ/作 つちだよしはる/絵	S
7	キャベツくん	長新太/文・絵	S
8	くまの子ウーフ	神沢利子/作 井上洋介/絵	S
9	くまのこうちょうせんせい	こんのひとみ/作 いもとようこ/絵	
10	ぐりとぐら	中川李枝子/作 大村百合子/絵	S
11	これはのみのぴこ	谷川俊太郎/作 和田誠/絵	
12	しずくのぼうけん	マリア・テルリコフスカ/作 うちだりさこ/訳 ポフダン・ブテンコ/絵	
13	じめんのうえとじめんのした	アーマE. ウェバー/文・絵 藤枝濤子/訳	
14	14ひきのひっこし	いわむらかずお/作	S
15	ぞうのたまごのたまごやき	寺村輝夫/作 和歌山静子/絵	S
16	そらまめくんのベッド	なかやみわ/作・絵	S
17	だいくとおにろく 日本の昔話	松居直/再話 赤羽末吉/画	
18	ダンゴムシみつけたよ	皆越ようせい/写真・文	
19	ちいさいおうち	ばーじにあ・リー・ばーとん/文・絵 いしいももこ/訳	
20	てぶくろ ウクライナ民話	エウゲーニー・M・ラチョフ/絵 うちだりさこ/訳	
21	ともだちや	内田麟太郎/作 降矢なな/絵	S
22	どろんこハリー	ジーン・ジオン/文 マーガレット・プロイ・グレアム/絵 わたなべしげお/訳	S
23	にじいろのさかな	マーカス・フィスター/作 谷川俊太郎/訳	S
24	ひとまねこざるときいろいぼうし	H. A. レイ/文・絵 光吉夏弥/訳	S
25	ふたりはともだち	アーノルド・ローベル/作 三木卓/訳	S
26	ふゆめがっしょうだん	富成忠夫/写真 茂木透/写真 長新太/文	
27	フレデリック ちょっとかわったねずみのはなし	レオ・レオニ/作 谷川俊太郎/訳	
28	むしたちのうんどうかい	得田之久/文 久住卓也/絵	
29	りんごかもしれない	ヨシタケシンスケ/作	
30	ろくべえまってるよ	灰谷健次郎/作 長新太/絵	

* 書名は五十音順に表示しました。

* 備考欄 S ...シリーズ本や続編あり

資料4

小山市おすすめブック(中学年)

	書名	著者名	備考
1	あらしのよるに	きむらゆういち/作 あべ弘士/絵	S
2	いのちのおはなし	日野原重明/文 村上康成/絵	
3	ウエズレーの国	ポール・フライシュマン/作 ケビン・ホークス/絵 千葉茂樹/訳	
4	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット/作 ルース・クリ スマン・ガネット/絵 わたなべしげお/訳	S
5	大どろぼうホッツェンプロッツ	オトフリート＝プロイスラー/作 中村浩三/訳	S
6	かわいそうなぞう	つちやゆきお/文 たけべもといちろう/絵	
7	車のいろは空のいろ 1 白いぼうし	あまんきみこ/作 北田卓史/絵	全3巻
8	ココロ屋	梨屋アリエ/作 菅野由貴子/絵	S
9	ことばあそびうた	谷川俊太郎/詩 瀬川康男/絵	S
10	シートンどうぶつ記 幼年版 1 オオカミ王ロボ	シートン/作 こばやしせいすけ/文 たかはしきよし/絵	全10巻
11	じごくのそうべえ	田島征彦/作	S
12	シャーロットのおくりもの	E.B.ホワイト/作 ガース・ウィリアムズ/絵 さくまゆみこ/訳	
13	星座を見つけよう	H・A・レイ/文・絵 草下英明/訳	
14	せかいのひとびと	ピーター・スピーアー/絵・文 松川真弓/訳	
15	小さなスプーンおばさん	アルフ・ブリョイセン/著 大塚勇三/訳	S
16	ちびっこカムのぼうけん	神沢利子/作 山田三郎/絵	
17	手ぶくろを買いに	新美南吉/作 黒井健/絵	
18	としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン/作 ケビン・ホークス/絵 福本友美子/訳	
19	とりになったきょうりゅうのはなし 改定版	大島英太郎/作	
20	なぞのたから島 (かいぞくポケット 1)	寺村輝夫/作 永井郁子/絵	全20巻
21	歯いしゃのチュー先生	ウィリアム・スタイグ/文・絵 うつみまお/訳	
22	花さき山	斎藤隆介/作 滝平二郎/絵	
23	はなのあなのはなし	やぎゆうげんいちろう/作	
24	ファールコンちゅう記 1 タマコロガシものがたり	ファール/著 小林清之介/文 横内襄/絵	全7巻
25	ぼくらの地図旅行	那須正幹/文 西村繁男/絵	
26	雪の写真家ベントレー	ジャクリン・ブリッグズ・マーティン/作 メアリー・アゼリアン/絵 千葉茂樹/訳	
27	ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤洋/著 杉浦範茂/絵	S
28	レンゲ畑のまんなかで	富安陽子/著 降矢奈々/絵	
29	わすれられないおくりもの	スーザン・バーレイ/作・絵 小川仁央/訳	
30	わたしと小鳥とすずと (金子みすゞ童謡集)	金子みすゞ/著 矢崎節夫/選	

* 書名は五十音順に表示しました。

* 備考欄 S ...シリーズ本や続編あり

	書名	著者名	備考
1	赤毛のアン (シリーズ赤毛のアン 1)	モンゴメリ/原作 村岡花子/訳	全7巻
2	あきらめないこと、それが冒険だ エベレストに登るのも冒険、ゴミ拾いも冒険!	野口健/著	
3	アンジュール ある犬の物語	ガブリエル・バンサン/作	
4	エーミールと探偵たち	エーリヒ・ケストナー/作 池田香代子/訳	S
5	おーいぼぼんた 声で読む日本の詩歌166 俳句・短歌鑑賞	茨木のりこ/ほか編集委員 柚木沙弥郎/画	2冊組
6	かぎりなくやさしい花々 野の花々が手足の不自由な私に生命の尊さを教えてくれました	星野富弘/著	
7	風の又三郎	宮沢賢治/作	
8	ガラスのうさぎ	高木敏子/作 武部本一郎/画	
9	川のいのち	立松和平/文 横松桃子/絵	S
10	霧のむこうのふしぎな町	柏葉幸子/作 杉田比呂美/絵	
11	ギルガメシュ王ものがたり	ルドミラ・ゼーマン/文・絵 松野正子/訳	S
12	木を植えた男	ジャン・ジオノ/原作 フレデリック・バック/絵 寺岡襄/訳	
13	蜘蛛の糸	芥川龍之介/作 遠山繁年/絵	
14	西遊記	呉承恩/作 渡辺仙州/編訳 佐竹美保/絵	上・中・下 全3巻
15	じゅげむ 落語絵本	川端誠/作	S
16	生物の消えた島	田川日出夫/文 松岡達英/絵	
17	せいめいのれきし 改訂版 地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし	バージニア・リー・パートン/文・絵 いしいももこ/訳 まなべまこと/監修	
18	田中正造 日本初の公害問題に立ち向かう	堀切リエ/文 石井勉/画	
19	チョコレート工場の秘密 (ロアルド・ダールコレクション 2)	ロアルド・ダール/著 クエンティン・ブレイク/絵 柳瀬尚紀/訳	S
20	トムは真夜中の庭で	フィリパ・ピアス/作 高杉一郎/訳	
21	ドリトル先生アフリカゆき (ドリトル先生物語 1)	ヒュー・ロフティング/作 井伏鱒二/訳	全13巻 (若狭少年文庫)
22	西の魔女が死んだ	梨木香歩/著	
23	バッテリー	あさのあつこ/著 佐藤真紀子/絵	1~6 全6巻
24	葉っぱのフレディ いのちの旅	レオ・バスカーリア/作 みらいなな/訳 島田光雄/画	
25	ハッピーバースデー	青木和雄/作 吉富多美/作	
26	武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り	ヴィヴィアナ・マツァ/著 横山千里/訳	
27	ぼくらの先生!	はやみねかおる/著	
28	みどりのゆび	モーリス・ドリュオン/作 安東次男/訳	
29	ライオンと魔女 (ナルニア国ものがたり 1)	C.S.ルイス/作 瀬田貞二/訳	全7巻
30	若草物語	オルコット/作 小林みき/訳	

* 書名は五十音順に表示しました。

* 備考欄 S ...シリーズ本や続編あり

資料4

小山市おすすめブック(中学校)

	書名	著者名	備考
1	青空のむこう	アレックス・シアラー/著 金原瑞人/訳	
2	アンネの日記 増補新訂版	アンネ・フランク/著 深町真理子/訳	
3	一瞬の風になれ	佐藤多佳子/著	1～3 全3巻
4	兎の眼	灰谷健次郎/作	
5	おのぞみの結末 (星新一ちよっと長めのショートショート 5)	星新一/作 和田誠/絵	S
6	面白くて眠れなくなる植物学	稲垣栄洋/著	
7	怪盗紳士 (シリーズ怪盗ルパン 第1巻)	ルブラン/原作 南洋一郎/文 藤田新策/装丁・画	S
8	カラフル	森絵都/著	
9	義足のアスリート山本篤	鈴木祐子/著	
10	木のいのち木のこころ 天・地・人	西岡常一/著 小川三夫/著 塩野米松/著	
11	きみの友だち	重松清/著	
12	サラダ記念日	俵万智/著	
13	三国志	羅貫中/作 渡辺仙州/編訳 佐竹美保/絵	1～4、別冊 全5巻
14	詩のこころを読む	茨木のり子/著	
15	車輪の下	ヘッセ/作 高橋健二/訳	
16	14歳からの哲学 考えるための教科書	池田晶子/著	
17	少年H	妹尾河童/著	上・下 全2巻
18	図書館戦争	有川浩/著	S
19	なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと	池上彰/監修 佳奈/漫画 モドロカ/画	
20	夏の庭 - The Friends -	湯本香樹実/作	
21	人間失格・桜桃	太宰治/著	
22	にんげんだもの	相田みつを/著	
23	緋色の研究 (シャーロック=ホームズ全集 1)	コナン=ドイル/著 各務三郎/訳	S
24	ぼくらの七日間戦争	宗田理/作	S
25	星の王子さま	サン=テグジュペリ/作 内藤濯/訳	
26	盲導犬クイールの一生	秋本良平/写真 石黒謙吾/文	
27	モモ	ミヒヤエル・エンデ/作 大島かおり/訳	
28	指輪物語	J・R・R・トールキン/著 瀬田貞二/訳 田中明子/訳	1～6、追補編 全7巻
29	路傍の石	山本有三/作	
30	吾輩は猫である	夏目漱石/著	上・下 全2巻

* 書名は五十音順に表示しました。

* 備考欄 S ...シリーズ本や続編あり

小山市における子どもの年齢・成長に合わせた読書体験のための取り組み

区分	乳幼児期→ おおむね6歳頃まで	→小学校期→ おおむね6～12歳まで	→中学校期→ おおむね12～15歳まで	→高校生期→ おおむね15～18歳まで
発達段階の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・本と初めて出会う。 ・耳からの読書で脳が発達する。 ・絵本に親しみ、想像する楽しみと出会う。 ・絵本を通じて生活習慣を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本のほか、物語や様々なジャンルの本に親しむようになる。 ・知識や情報を得るための読書を行う。 ・自主的な読書習慣が身に付き始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの本から大人向けの本に移行し始める。 ・本を読むことで将来の夢や目標を見つける。 ・知識や情報を得るための手段としての読書を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自我や価値観が発達し、主体的な読書をするようになる。 ・読書を通じて将来や進路について考え、社会に参画するための思考力や判断力を身に付ける。
取り組みと対象年齢の範囲	「絵本とこんにちは」事業 【24・35・36頁】			
	すくすく・ほっと・タイム (中央図書館)【24・36頁】			
	児童サービスデスク(中央図書館児童開架室内)【25頁】			
	図書館における「おはなし会」【25・32頁】			
	市民団体・ボランティアによる「おはなし会」【25・32頁】			
	おすすめブックリスト【24・28・51～57頁】			
	「赤ちゃんから楽しめる絵本」「いっしょに読みたい絵本」「小山市おすすめブック」			
	読み聞かせ(家庭・図書館・学校・幼稚園・認定こども園・保育園(所)等) 【24・25・26・29・32頁】			
	家読(うちどく)【24・36頁】			
	移動図書館「せきれい」の利用【25・37頁】			
	「まちづくり出前講座」【26頁】			
		子ども司書の養成【35頁】		
		学校における「朝の読書活動」(朝読)【28頁】		
		友達・異学年・異校種間の読み聞かせや本の紹介【29頁】		
		学校支援ボランティアと共に展開する読書活動【29頁】		
		青少年コーナーの充実【33頁】		
		青少年ブックリスト【33頁】		
		中央図書館ボランティア【39頁】		
	外国人へのサービス【34頁】			
	ハンディキャップサービス【34頁】			

小山市では、子どもと子どもを見守る大人が読書を楽しんでもらえるような環境づくりに取り組んでいます。

発達段階の特徴は、栃木県子どもの読書活動推進計画(第四期)より

読書活動に携わる団体や活動

図書館関係団体

小山子どもの本連絡会（通称：おこれん）

小山子どもの本連絡会は、1995年（平成7年）に発足しました。小山市内または小山市周辺で、子どもと本をつなぐ『つなぎ手』として活動しているグループや個人の会員で構成されています。いくつかのグループが集まることによって、学校・幼稚園・保育園・児童館などから、おはなし会の要請にも「小山子どもの本連絡会」として応えることができるようになりました。

小山子どもの本連絡会は、子どもたちにより良いものを還元していこうと、次のような活動をしています。

【活動内容】

- ・それぞれのグループや個人が横のつながりを持ち、情報交換や問題点を相談しあい、勉強を重ねて資質を高めあうこと。
- ・ひとつのグループでは実現できない研修会や講演会を行うこと。
- ・小山子どもの本連絡会では、趣旨に賛同していただける仲間を募集しています。
- ・必要に応じて、役員会や全体会を随時開催
- ・おこれんのおはなし会の開催

○日時：原則、毎月第3日曜日 14:00～14:30

○場所：中央図書館児童開架室 おはなしコーナー

中央図書館ボランティア連絡会

中央図書館・小山分館・間々田分館・桑分館では、返却された図書の配架や書架整理などを行うボランティアを受け入れています。毎年年度末に次年度のボランティアの募集を行い、登録前に募集説明会を行っています。活動自体は図書館の開館時間中ならいつでも好きなときに行うことができます。

また、毎月第1水曜日の午前10時30分から正午まで、ボランティア登録者相互の意見交換や、親睦を深めるため「中央図書館ボランティア連絡会」を開催しています。

「ボランティア年間計画表」のテーマに沿った学習会も併せて行い、ボランティアの資質向上を目指しています。

小山市立図書館協議会

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関です。委員は、学校教育・社会教育・家庭教育の関係者、学識経験者などに委嘱して、10人以内の委員をもって組織し、委員の任期は2年です。会議は、年間2回開催しています。

小山市立図書館関係団体連絡協議会

図書館を拠点に活動しているグループ・団体の集まりで、読書会・勉強会・趣味の集い・ボランティアグループとさまざまな活動をしています。その中で、子どもの読書に関する団体を抜粋して紹介します。

団体名	活動日等	活動内容
児童文学を読む会 「あかいくつ」	毎月第3木曜日 13:30～15:30 中央図書館	年度初めに、皆で月1冊の割で課題の本を決め、個々が例会までに読んできて、感想などを発表し、意見交換をしています。児童文学と言っても幅広く、絵本から大人向けでは?と思われる本までいろいろ取り上げています。
はなしのこべや	毎月第4日曜日 14:00～16:30 中央図書館	子どもとおはなしや絵本を楽しみたい、その思いでおはなし会を開いています。その後、第1集会室において絵本の研究も行っています。発足30年を超えましたが、未永くおはなしのろうそくを灯していきたいと思います。 (おはなし会: 毎月第4日曜日 14:00～14:30)
おはなしキャラバン たんぽぽ	随時 中央図書館 大谷公民館	主に人形劇の技法を使って、年2回小山市立中央図書館で自主公演をします。年1回、大谷公民館まつりに参加します。その他、依頼を受けて小山市内、近隣の市町村でも公演します。栃木県人形劇おはなし連絡協議会に属し、同会員との交流、フェスティバルへの参加などをします。
おはなし水曜会	毎月第1水曜日 10:00～11:30 中央図書館	毎月第1水曜日に、勉強会とおはなし会のプログラムの検討をしています。 0～3歳の子ども達を対象におはなし会を行っています。 30分間の短い時間ですが、絵本や紙芝居、手あそびなど一緒に楽しんでみませんか? (おはなし会: 毎月第2水曜日 10:30～11:00)
おはなしボランティア 養成講座修了生の会	毎月第3金曜日 10:00～12:00 中央図書館	ストーリーテリング(おはなしを覚えて語る)を勉強し、依頼に応じておはなし会をしています。現在は市内5校で定期的におはなし会をしています。中央図書館でも年に数回おはなし会をしています。
ゆめまちおはなし会	年4回(季節ごと) 10:30～11:00 小山城南市民交流 センター	2歳から就学前の子ども達を対象におはなし会を行っています。

市内図書館で毎月定期的に行っているおはなし会

中央図書館

- おはなしウェンディ (中央図書館主催)  
- おはなしウェンディ0・1・2 (中央図書館主催) 
- おこれんのおはなし会 (小山子どもの本連絡会主催)  
- おはなしかい (はなしのこべや主催)  
- おはなしこんにちは (おはなし水曜会主催) 
- おはなしメロディ (朗読サークル「かがやき」主催)  

小山分館

- おやま分館ピッコロおはなしかい (小山子どもの本連絡会主催) 

間々田分館

- ままだ分館おはなしかい (中央図書館主催)  

桑分館

- わくわくマルベリーおはなし会 (わくわくマルベリー主催)  

対象年齢の目安：0～2歳



：3～6歳



：小学生～



開催については、広報おやまの「図書館つうしん」などで毎月お知らせしています。

アンケート集計結果(児童・生徒)

設問	回答	小2	小5	中2
問1 あなたは本が好きですか	1 はい	402	400	337
	2 いいえ	79	92	113
問2 問1で「1.はい」と答えた人に聞きます。本が好きな理由は？ (複数回答可)	1 面白い	294	320	285
	2 感動する	78	122	112
	3 自分の知らない事がわかる	213	218	118
	4 小さいころから読んでいる	119	104	48
	5 その他	34	47	20
問3 問1で「2.いいえ」と答えた人に聞きます。本が嫌いな理由は？ (複数回答可)	1 どんな本をえらんだらいいかわからない	21	23	25
	2 読むのが面倒、難しい	24	30	59
	3 塾や習い事で忙しい	16	17	15
	4 ゲームやテレビの方が面白い	38	47	59
	5 その他	1	13	8
問4 小学校に入学する前、家の人に本を読んでもらいましたか？	1 ほぼ毎日	81	72	57
	2 ときどき	204	239	210
	3 ほとんどない	122	77	88
	4 覚えていない	73	103	93
問5 あなたは主にどんなきっかけで本を読みますか？	1 友達にすすめられて	44	85	49
	2 家にあつたから	203	160	99
	3 先生にすすめられて	22	8	8
	4 本屋さんで見かけて	165	189	266
	5 その他	102	104	60
問6 あなたは学校の図書室で本を借りますか？	1 はい	462	424	142
	2 いいえ	18	53	302
問7 あなたが学校の図書室に求めているものは何ですか？ (複数回答可)	1 自分が読みたい本がある	384	401	344
	2 定期的に新しい本が入ってくる	225	217	193
	3 いつ行っても先生や司書の人がいる	67	37	18
	4 朝の登校から放課後までいつ行っても開いている	148	95	131
	5 自分の教室や昇降口から近く、行きやすい	164	75	66
	6 その他	27	39	23
問8 あなたは市内の図書館で本を借りますか？	1 はい	292	251	104
	2 いいえ	176	235	346
問9 どんな本に興味がありますか？ (複数回答可)	1 伝記	46	117	56
	2 物語・小説	198	279	321
	3 絵本	199	73	27
	4 学習漫画	118	168	54
	5 趣味やスポーツの本	88	131	157
	6 図鑑・知識の本	163	124	92
	7 漫画	208	295	265
	8 その他	59	54	19
問10 本を読んでどのような事を感じたり思ったりしますか？ (複数回答可)	1 楽しい	369	374	329
	2 考える力や想像力がつく	166	223	199
	3 ものしりになる	168	194	135
	4 感動する	112	181	194
	5 家族や友だちとの話題が増える	82	162	105
	6 気分転換になる	164	244	250
	7 読書は面倒だ	20	17	34
	8 どんな本を読んでもいいかわからない	31	26	17
	9 読みたい本があまりない	59	37	45
	10 その他	21	19	11

各設問の回答数は無回答数を除いたものとなっています。

アンケート集計結果(児童・生徒)

設問	回答	小2	小5	中2
問11 いつ頃から本を読むようになりましたか？	1 5歳以下		180	132
	2 6～7歳		191	138
	3 8～9歳		82	73
	4 10歳以上		27	71
問12 あなたは1カ月にどのくらい本を読みますか？	1 0冊	18	10	41
	2 1冊～3冊	73	102	268
	3 4冊～5冊	75	117	71
	4 6冊～10冊	115	131	24
	5 11冊～20冊	90	90	19
	6 21冊以上	101	37	14
問13 問12で「1.1カ月に0冊」と答えた人に聞きます。その理由はなんですか？	1 読みたいと思ったが読めなかった		3	13
	2 読みたいとは思わなかった		5	27
問14 問13で「1.読みたいと思ったが読めなかった」と答えた理由はなんですか(複数回答可)	1 読みたい本がなかった		2	6
	2 本が高くて買えなかった		0	0
	3 学校の図書館が開まっていた		0	1
	4 市内の図書館が近くにない		0	3
	5 勉強・塾・習い事で時間がなかった		0	3
	6 部活動で時間がなかった		0	5
	7 友達とすごしたりして時間がなかった		1	1
	8 テレビ・ゲームなどで時間がなかった		2	4
	9 何を読んだらいいかわからなかった		0	3
	10 その他		0	2
問15 問13で「2.読みたいとは思わなかった」と答えた理由はなんですか？(複数回答可)	1 本を読むのが嫌い		3	10
	2 ふだんから読まない		4	18
	3 読まなくても困らない		1	10
	4 勉強・塾・習い事の方が大切だ		1	4
	5 部活動の方が面白い		0	6
	6 友達とすごしたり話をしたりする方がおもしろい		1	12
	7 本よりテレビやビデオ・ゲームが面白い		2	14
	8 本を読むのが面倒だ		3	17
	9 その他		0	2
問16 気に入って何回も読む本はありますか？	1 ある	385	425	352
	2 ない	91	63	89
問17 パソコンやスマートフォン、タブレット等で本(電子書籍)を読みますか？	1 はい	108	132	152
	2 いいえ	368	351	288

各設問の回答数は無回答数を除いたものとなっています。

アンケート集計結果(保護者)

設問	回答	計
問1 あなたは本が好きですか？	1 はい	399
	2 どちらともいえない	326
	3 いいえ	64
問2 あなたは1ヵ月にどれくらい本を読みますか？	1 0冊	266
	2 1冊～3冊	410
	3 4冊～5冊	57
	4 6冊～10冊	26
	5 11冊～20冊	14
	6 21冊以上	10
問3 あなたは自分のため、もしくは子どものために市内の図書館等で本を借りますか？	1 よく借りる	88
	2 ときどき借りる	202
	3 ほとんど借りない	502
問4 市内の図書館以外の場所で本を借りますか？	1 借りる	44
	2 借りない	732
問5 問3で「3.ほとんど借りない」と答えた方、その理由は何ですか？	1 自分で購入するため	282
	2 図書館に行きたくても行けない(立地・生活環境等)	54
	3 図書館に読みたい本がない	9
	4 本を読みたくない、または本を読むのが嫌いだから	61
	5 その他	121
問6 お子さんに読み聞かせをしますか？	1 ほぼ毎日	158
	2 ときどき	504
	3 ほとんどしていない	130
問7 お子さんの年齢は？	1 0～2歳	187
	2 3～4歳	367
	3 5～6歳	386
問8 家にある子どもの本の数は？	1 10冊以下	102
	2 11～50冊	565
	3 51冊以上	124
問9 お子さんは本が好きですか？	1 はい	556
	2 どちらともいえない	218
	3 いいえ	12
問10 読み聞かせは大切だと思いますか？	1 思う	705
	2 どちらともいえない	78
	3 思わない	5
問11 市内の図書館等で開催される「おはなし会」や「絵本の読み聞かせ」などに参加したことはありますか？	1 よく参加する	11
	2 ときどき参加する	71
	3 ほとんど参加しない	478
	4 開催を知らない	232
問12 お子さんは電子書籍で本を読みますか？ (読み聞かせも含む)	1 はい	69
	2 いいえ	723

各設問の回答数は無回答数を除いたものとなっています。

小山市子ども読書活動推進計画(第四期)

令和3年3月

発行	小山市
	http://www.city.oyama.tochigi.jp/
編集	小山市・小山市教育委員会 生涯学習課
	〒323 - 8686
	栃木県小山市中央町1 - 1 - 1
	電話 0285 - 22 - 9671
	FAX 0285 - 22 - 9650
	E-mail d-gakusyuu@city.oyama.tochigi.jp

